

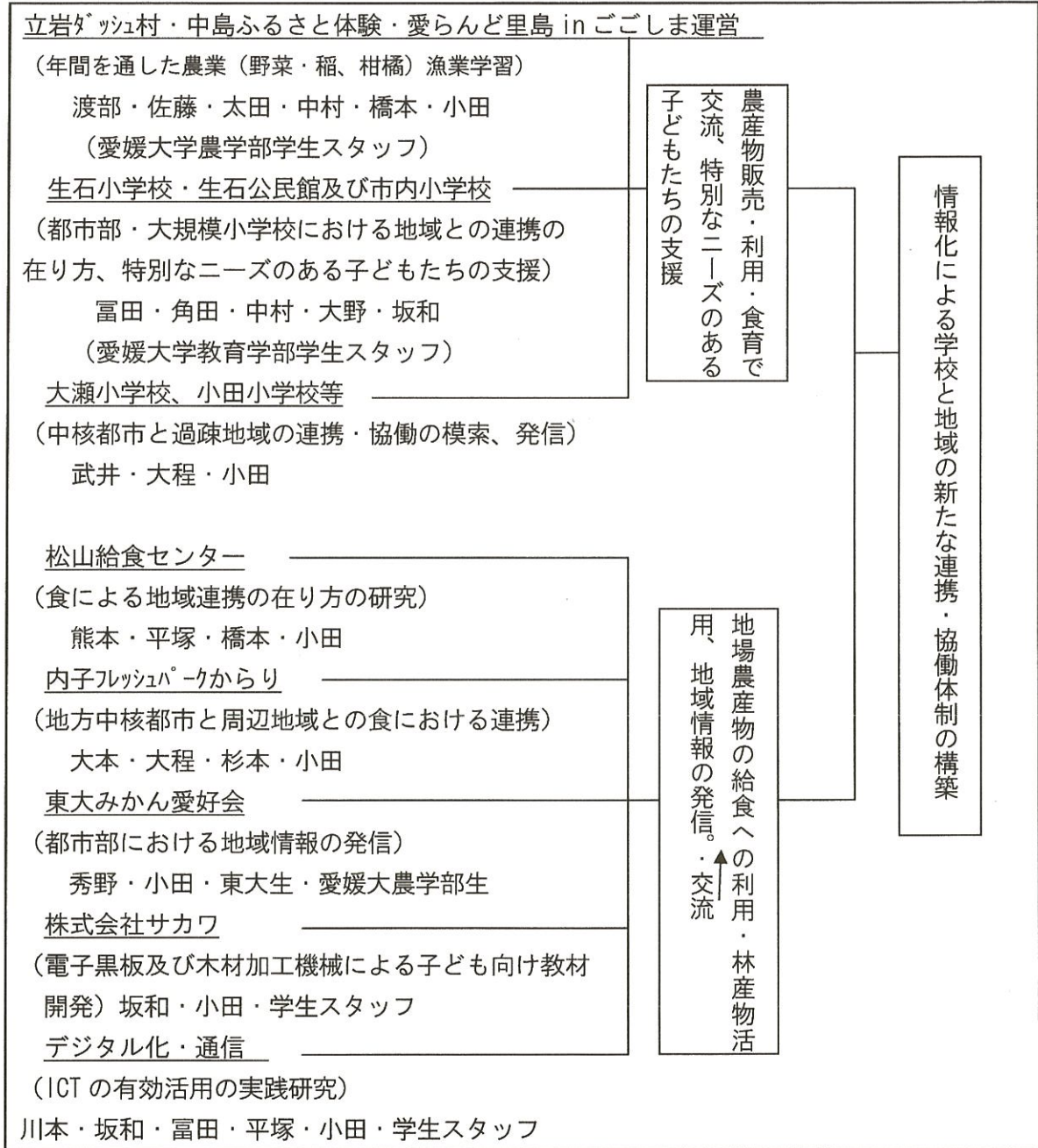
— 目 次 —

1. 成果報告書概要	・・・・・・・・・・ 1
2. eラーニングシステムについて	・・・・・・・・・・ 6
3. 立岩ダッシュ村の活動について	・・・・・・・・・・ 7
活動写真	・・・・・・・・・・ 9
アンケート	・・・・・・・・・・ 64
4. なかじま元気村の活動について	・・・・・・・・ 84
活動写真	・・・・・・・・ 86
アンケート	・・・・・・・・ 104
5. 愛ランド里島 in ごごしまの活動について	・・ 106
活動写真	・・・・・・・・ 108
アンケート	・・・・・・・・ 119
6. 都会と田舎を結ぶ食育ネットの年間活動計画	・・ 125
活動写真（フォト蔵にて）	・・・・・・・・ 127
体験の感想（保護者より）	・・・・・・・・ 134

※全てではないが、実践内容・研究内容を掲載した。これらは全て、eラーニングシステムと繋がり、連動していたが、契約終了後であるので、この形で提出させていただいた。個人情報のこともあり、資料提示が難しいので取り扱いに注意する必要がある。

成果報告書

1. 事業の実施体制（再委託先まで含めた事業実施体制について図示すること。）



2. 実証研究のスケジュール

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
立岩ダッシュ村、中島ふるさと体験、愛らんど里島 in ごごしま	月1回実施・記録(ダッシュ) <販売・調理体験等> <販売体験等> 体験記録の入力 2ヶ月に1回実施(中島、ごごしま)、体験記録の入力						
生石公民館	活動はほぼ毎日		<販売・調理体験等>		<販売体験等>		
松山給食センター	<地産地消に向けての検討>						
内子フレッシュパークからり	<生産者への周知>		<給食用出荷>		<反応調査>		
大瀬小学校 小田小学校	<依頼>		<地域調査>		<生産者へのインタビュー>		
ICT化・通信	<ソフト等の導入>		<情報素材の収集と構成>				
	<システム構築>		<随時、システムチェック、効果検証>				
実証委員会	<全体会>		<部会毎の検討とチェック・修正>			<全体会>	
東大ミカ研究会	愛媛大学生との協働体験<販売体験>				<収穫体験>		
(株)サカワ	<学習用木材加工品の作成・実演>				<電子黒板の活用法研究>		
特別ニーズへの支援	<ICT教材の作成>		<実証>		<電子黒板の活用法研究>		

3. 選択したテーマに応じた解決すべき課題

昨年度本事業のテーマ「産学官民など多様な主体による学校と地域の双方の活性化のための仕組みづくり」にて、事業を受けた。後述のように、相応の成果は得たが、より連携を深化させるために、昨年度に続いて応募するものである。昨年度も申請書に記させていただいた。

いわゆる「放課後子ども教室」は愛媛県内でも松山市の実施率は高く、市内では58校区のうち26校区で実施されている。公民館組織と連動し、シルバー人材の有効利用としてもその価値は極めて高い。一方残りの校区では、スポーツ少年団の活動等や地域の特性に応じた活動が行われており、放課後子ども教室と同様な成果をあげている。松山市で放課後子ども教室が行われているのは市街地が多く、実施されていないところは周辺地域であり、その地理的特性ははっきりと判別できる。松山市教育委員会地域学習振興課と代表の所属する愛媛大学農学部農山漁村地域マネジメント特別コースは、平成20年度に子どもたちの豊かな人間性や社会性を育む体験活動を第一義の目的とし、一方で地域間格差の是正と交流促進、僻地学校の児童募集も視野に入れて「体験学習を通じた人間力育成事業」を計画し、平成21年度に「立岩ダッシュ村」「中島ふるさと体験」、平成22年度より「坂本ぼんぼこ村」、平成24年度からは「愛らんど里島 in ごごしま」を受け入れ地域の住民を主体とし、学生と行政が支援するという形で現在まで続いている。これらの事業成果は顕著であり、毎年、応募人数を上回る希望者がおり抽選によって参加者が決められており、児童や保護者からの反応も極めていい。なお、その体験学習で採れた農水産物は、年に複数回イベントを市街地で開催し販売するようになっている。以上のように、松山市では「放課後子ども教室」と「体験学習を通じた人間力育成事業」が行われ別物として走っているが、可能な範囲で連携を図っていけば、双方の教育効果があがるものと考え。一方、大野らによるシルバー人材の活用は、今後の彼らの「生きる力」となりえるものでもあり、特に、都市部における耕作放棄

地を有効活用し、学生の指導や子どもたちとの健全育成につなげることは、双方におきな意味を持つ。本事業では、「ICT」を使って、さらに「体験学習を通じた人間力育成事業」で生産される農産物を使った「食育」で両者をつないでいきたいと考えている。このように、今後の「放課後子ども教室」も校区内に留まるのではなく、校区外との連携も視野に入れるべきである。一方、松山市の山間僻地では、児童数が少なく十分な子ども教室となっていないのも事実であり、こういった交流も今後必要である。ただし、ここで問題なのは、こういった活動の発信力である。その発信力をICT活用でつけていく。

昨年度は、松山市内の僻地の「立岩ダッシュ村」での取り組みを市内の小学校・公民館につなぐという形であったが、本年度は、愛媛大学が関わる「中島ふるさと体験(漁業・柑橘)」・「愛らんど里島 in ごごしま(漁業・柑橘・文化)」(いずれも瀬戸内海の島)の2つの体験活動も加えて、山里海の流れを組み入れたていく。また、(株)サカワは、木材加工をしている企業であり、これまで、体験として不足していた林業分野も補える。松山の市街地を取り巻く山里海の内り方を考えた連携教育が可能であり、電子黒板を扱っている当社には、ICT活用の面でも協力をいただけるなお、本年度は、(株)NTTラーニングシステムズのLStepというeラーニングシステムを活用して、双方向での交流ができるようにしたい。双方向での交流がやがて協働に昇華すると考える。

一方で、単独の市町に留まることなく、少し広げた交流を進めたい。松山市は愛媛においては消費地である。一方、代表の住む内子町は中山間地域で農林業が主産業のいわゆる過疎地域である。しかし、そこで生産された農産物は直売所が先進的に導入したトレーサビリティシステムで安心・安全が確立されているが、それをよりわかりやすいシステムとし、都市部の松山市の給食に供給できるシステムも考えていきたい。そこに住む児童との交流も実現させたい。域外との交流も放課後子ども教室のメニューとして取り入れるべきで、それらによって、子どもたちが双方の立ち位置を認識し、中山間地域の子どもたちは自らの地域に自信を持ち、一方で都市部の子どもたちには、自らの食の原点を交流で学ぶことで、部屋やマチ遊びから、戸外へ、山への遊びとつなげることができる。本事業の発展形を目指した取り組みと考えている。

これを更に発展させ、中山間地域の小規模小学校との連携を増やすとともに、一方で、大都会の東京の大学生との繋がりも持つなど、多様な主体と連携・協働することで自分たちの立ち位置を考えさせることに繋がると考えた。

これに加えて、ICTの活用で、特別なニーズのある子供たちへの放課後等の支援の充実も図りたい。これについては、富田が中心となって考えているが、代表も特別支援学校の勤務経験もあり、角田や中村らも、そういった教育の内り方について常に考えておられることから、この協働の輪の中でよりよい展開ができるものと考えた。

テーマとしては、4つのうち3つを取り上げ欲張りのように見えるが、欲張ることが、連携・協働の推進力となると考える。

4. 実証研究の目的、実施内容及び実施方法等。

<実証研究の目的>

昨年度の情報化(ICT)による学校と地域の新たな連携・協働体制の構築に加えて、拡充が主目的である。これまでの「放課後子ども教室」「体験学習を通じた人間力育成事業」を基盤とし、地域間連携を視野に入れ、相互に学び合う関係を確立する。昨年度は、流れが片方向であったのを双方向にするといった工夫を行い、効果を上げるものとする。こうい

た双方向のバーチャルがリアルな交流を促進すると考える。また、学校・地域・家庭への普及も容易であると考え。

<実施内容>

実施内容は実施体制にあるように大きく2つに分けられる。昨年度に引き続き、1つは松山市内における「体験学習を通じた人間力育成事業」と「放課後子ども教室」の連携である。先行事例として、立岩公民館による「立岩ダッシュ村」と生石公民館による「放課後子ども教室」の連携を考えている。立岩ダッシュ村で栽培・生産された農産物を利用して料理をすること、生石小及び公民館のバザーで農産物を販売することを予定である。今年度は、さらに「中島ふるさと体験」「愛らんど里島 in ごごしま」も連携させ、多様化と双方向性を促進し効果を上げる。なお、「立岩ダッシュ村」の周辺や代表の所有地の林地の木材も伐採・加工し、簡単な遊具を作って寄付したり、山でツリーハウスを作るなど自然体験・体験学習で人間力がつくことを見せつけたい。「体験学習を通じた人間力育成事業」は松山市の事業であるので、これらの交流がよい循環を持つことになると思うので、事業継続とともに、対象学校も拡大していく。

昨年度、あげていた2つめの地場農産物の給食への利用については、供給側の内子町自体が果物を中心とした農業が主体であるので、秋の給食のデザートとして提供する。その際、ICTを活用し産地である大瀬小学校の児童・大瀬公民館の協働による地域の紹介をしながらバーチャル交流を図る。さらに、定着を図るためリアルな交流事業も実施する。なお、田舎側の地域も拡大し、大瀬小学校に加え、小田小学校へも拡大する。ことらも、送り手であった活動を双方向にしたいと考えている。

3つめの「特別なニーズのある子供たちへの放課後等の支援の充実」は新規であるが、ICTでわかりやすく、バーチャルとリアルを組み合わせることで支援をしやすくするとともに、「食」「体験」という身近なわかりやすいテーマでアプローチすることで、効果があがると考えられる。

<実施方法>

昨年度は、「紙」媒体にこだわって見たが、今年度はスマートフォンやタブレットPC、デスクトップPCといったICTを活用する。電子黒板も活用していく。なお、今回のICTのシステムは(株)NTTラーニングシステムズの「LStep」というeラーニングシステムを使用する。このシステムは、基本機能として「学習機能(eラーニング)」「コミュニティ機能」「管理機能」が1セットとなっており、各事業主催者や放課後子ども教室などの事務局からの連絡、イベント出欠管理、自学自習、学びのグループワークの場として利用でき、タブレット、スマートフォン、携帯電話(フィーチャーフォン)からもアクセス可能である。特筆すべきはグループワークの場として利用でき、事務局とだけの双方向性だけでなく、参加者同士の双方向性が図れるということである。また、様々なメディアに対応しており、学習の場を選ばないことがある。

「LStep」の活用については、一つ一つの交流・協働活動の積み上げ、それ自体が学習素材として積み上げられ、さらにコミュニティ機能で相互交流ができ、課題解決も図ることができるなど、学びの上昇スパイラルができる。必要に応じて、学習素材として引き出していくこともでき、学びを大きく変えることにも繋がるかもしれない。これは、参加児童だけでなく、保護者も見ることができ、理解が深まると考えられる。

現在は、社会自体が、「都市」と「農山村」、「消費者」と「生産者」、「過疎と過密」といった対立軸で捉えられることが多いが、今後の日本を考えた時、「協働による共存・共栄」

は欠かせないものであり、その意味で、子どもたちだけでなく保護者も巻き込めるシステムを構築することが連携・協働の推進力になると考える。

5. 実証研究で得られた成果

成果・効果については、詳細を別添する。今年度は、森林、木についても連携・協働の素材として、山が守られてこそ、都市部の安心・安全な生活があるということも伝えることができた。

現在の小学生の保護者世代は、食卓の向こう、農林水産物の生産の現場を恐ろしいほど知らない。それも恐ろしいほどの数に上る。「米は木からできる」と発言する保護者もいるほどである。竹はイネ科のものであるから、異質ではあるもののある点では共通点があるが、あまりにも無知である。ここで「LStep」の中で子どもたちの体験を見て、知り、わからないことを質問することは、小学生だけでなく、保護者の教育にも役立つ。教える学生らも勉強になり、技術的なスキルだけでなく、教えることでさらに知識も向上する。コミュニケーション力も高まる。

都市部の家庭は食の生産現場から離れており、教育の現場も都市部では場所の関係から体験させることが困難である。今回の研究では、子どもたちの実体験をうまく集約し、それを保護者がインターネット上でバーチャル体験することで、親子のいい関係ができるし、給食や弁当の意味が、親子両方に伝えることができる。

教育は教室の中で、紙媒体で学ぶことが多い、最近では、ICTを活用したものも多いが、身近なものでなく遠い地域（世界）のものであったりする。これだけICTが発達してきている今、バーチャル教材も自らの活動で構築されることになれば、より効果的である。実体験をバーチャル化し、それを教材化することは関わる者全ての教育の質を高めることになる。バーチャル体験は結果としてリアルな体験の入り口になる。それが、他者への思いやりにつながり、心身のバランスのとれた子どもの発達につながると思われる。そういった好循環が生まれたのも事実である。

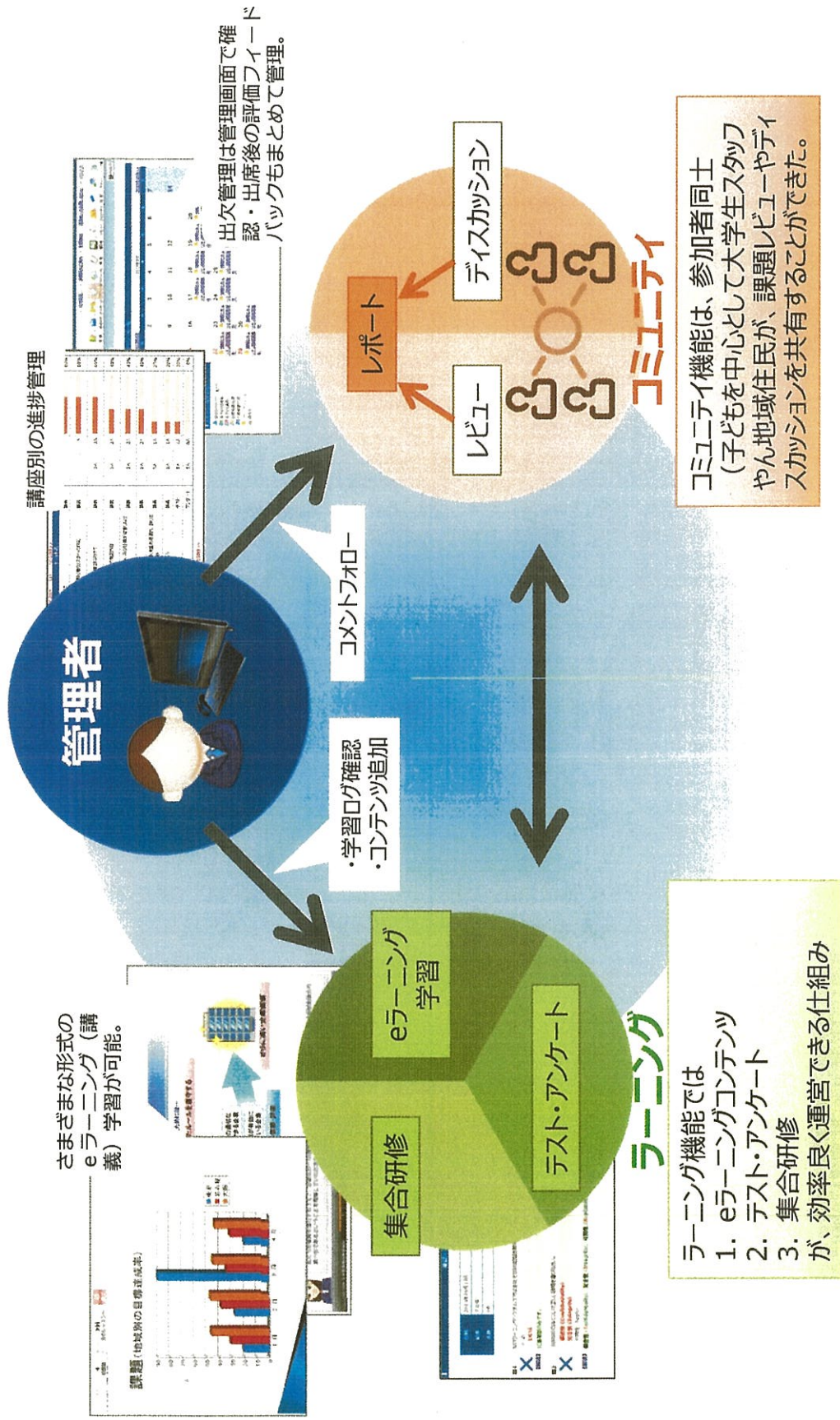
現在のような多くの問題を抱えた教育問題を抱えた社会は、大人の責任である。効率や生産性に追われて、非効率なものは切り捨てられた。そこで、都市部と農村部は断絶し、生産者と消費者も断絶した。株投資等に見られるマネーゲームは社会を崩壊させている。一番に身近な「食」について、どれだけ地道な活動がそこにあるか、それを大人がもう一度見直し、子どもに伝えて行かねばならない。しかし、教師は多忙であり、親は生きるために必死に働き余裕すらない。いわば、子ども発信で地域・学校間連携の先導モデルの確立し、新しい時代の協働はどうあるべきかを考えなければならない。やりっ放しでなく、様々な形を試行し、それぞれの地域で取り入れやすい形を構築し、提案していきたい。

ネット社会にも闇はある。しかし、このような形でネットをうまく使えば、効果的である。また、現在のスマートフォンやタブレットPCの有効利用にもなるので、このシステムを構築し有効性を立証し、公開・普及させたい。

効果の検証については、「LStep」における学習素材の積み上げ、コミュニティの活発さ等があり、アンケート機能もあるので、成果を把握しやすい。詳細は、別添資料で報告する。なお、特別な配慮の必要な子どもたちへの対応も、ICTを使えば容易になった。その事例も別添で報告する。

※eラーニングシステム (LStep : エルスステップ) の基本機能を有効活用し、展開した

■ 基本機能として「学習機能 (eラーニング)」「コミュニティ機能」「管理機能」が1セットとなっており、事務局や講師からの連絡、イベント出欠管理、自学自習、研修のグループワークの場として利用できた。タブレット、スマートフォン、携帯 (フィーチャーフォン) からもアクセス可能である。



平成 26 年度「立岩ダッシュ村」農業体験学習

目的

子どもの豊かな人間性や社会性を育むためには、自然体験をはじめとして様々な体験活動を行うことが極めて重要である。

中でも、継続した体験活動は子どもの生活や学習における意欲や集団の一員としての態度など、「人間力」の基礎の戦略的な育成を支援する手段として有効であると考えられている。

事業化の 3 方針

- 筋肉痛を伴う程度の学習・・・汗水垂らして活動する機会の創出
- 継続して物事を遂行する学習・・・物事を諦めず根気よくやり抜く力の育成
- 人・自然にふれあう学習・・・人・自然の温かさ・厳しさを実感する機会の創出

事業内容

立岩地区の自然環境の中で、年間を通して、米づくりや野菜づくり、しいたけ栽培、炭づくり、キャンプ、食育体験、販売体験などを行うことにより、子どもの社会性や豊かな人間性を育むとともに、地域の活性化を図る。

- 対象：参加を希望する小学校 4 年生～6 年生（40 名程度）
- 実施時間：土・日曜日、夏季休業中の毎月 1 回（基本的に通い）
- 実施主体：「立岩ダッシュ村」事業推進委員会（事務局：立岩公民館）
- 構成団体：立岩公民館、愛媛大学農学部、市 PTA 連合会

期待する効果

(1) 知的能力の育成

「応用力」「思考力」「想像力」

(2) 社会・対人関係力の育成

「コミュニケーションスキル」「リーダーシップ」「公共心」「規範意識」

「他者を尊重し切磋琢磨しながらお互いを高め合う力」

(3) 自己制御力の育成

「意欲」「忍耐力」「自分らしい生き方や成功を追求する力」

【年間スケジュール】

日程	田	畑	料理・その他
4 月 19 日(土曜日)		スイカ・かぼちゃ・トマト・ナス植付 玉ねぎ収穫	入村式
5 月 10 日(土曜日)	箱撒き	さつま芋、スイートコーン・落花生植付 玉ねぎ収穫	
6 月 7 日(土曜日)	田植え	じゃが芋・人参・玉ねぎ収穫 大豆播種	おやつ作り、夕日眺望

7月12日(土曜日)	草取り (田ころがし)	キャベツ・ブロッコリー種まき 大根・人参・キュウリ・トマト・ナス収 穫	カレー作り
夏休み中 (毎週1回~2回半日予 定)		夏野菜の除草作業・収穫	
8月9日(土曜日)~ 10日(日曜日) (1泊2日)	草取り	夏野菜の収穫 大根・白菜種まき キャベツ・ブロッコリー定植	台風11号により中止 [立岩公民館夏まつり参加] 販売体験(1回目) 「立岩ダッシュ村カレー」出 店 そうめん流し、味噌作り
9月6日(土曜日)		大根・ほうれん草・春菊種まき 白菜定植	
10月4日(土曜日)	稲刈り、はざか け	ほうれん草、水菜種まき さつま芋収穫	焼き芋づくり
11月8日(土曜日) (JR北条駅前)			【風早レトロまつり】 販売体験学習(2回目) (ダッシュ味噌、豚汁等)
11月24日(月曜日)		玉ねぎ定植 大豆・落花生・キャベツ・里芋収穫	芋炊き作り
12月6日(土曜日)		大根・白菜・じゃが芋収穫	餅つき、しめ縄づくり
1月17日(土曜日)		大根・白菜収穫	味噌作り 炭たてこみ、炭だし
2月1日(日曜日)		大根収穫 玉ねぎ除草作業 椎茸植菌入れ	冬カレー作り
3月7日(土曜日)		じゃが芋定植	思い出発表 修了式

平成26年度 『立岩ダッシュ村』入村式



入村式



司会: 昨年度参加児童(西谷 友里) 挨拶: 渡部恒夫村長



来賓挨拶: 遠藤美武副市長



参加児童たち



1班の紹介



2班の紹介



3班の紹介



4班の紹介



5班の紹介



6班の紹介



抱負: 児童代表(山下瑠奈)



☆自然豊かな立岩で42名が一年間活動します。



↑ 集合写真

番外編



←人参

←愛媛大学農学部 学生スタッフ

4月活動



↑ 農業指導者



↑ 大根の種まき



↑ カボチャ植付説明



↑ 玉ねぎ畑除草作業



↑ 人参種まき



↑ ナスの定植



↑ 茄子・ピーマンの定植



↑ 里芋の植付



↑ スイカ定植



↑ 立岩探索(立岩についてしっかりと学ぶ)



☆立岩地域の自然、歴史を学びました。

←お土産

【5月活動】



村長あいさつ



スケジュール説明



植え付け説明



落花生の植付



さつま芋植付



屋外での昼食タイム



箱撒き





スイートコーンの植付説明



早生玉ねぎ収穫



夏野菜の種まき



スイカ畑の除草作業



トマトの成長説明



スイカの藁敷



玉ねぎの葉・根切り

【6月活動風景】



↑ もち米植え
↓ うるち米植え





☆田植えを行う前に、玉ねぎを抜きました☆





↓ 玉ねぎの取り入れ作業



☆大根葉の収穫☆



↓ 空豆の収穫



☆除草作業で
本日は終了☆



【おやつづくり&夕日眺望】



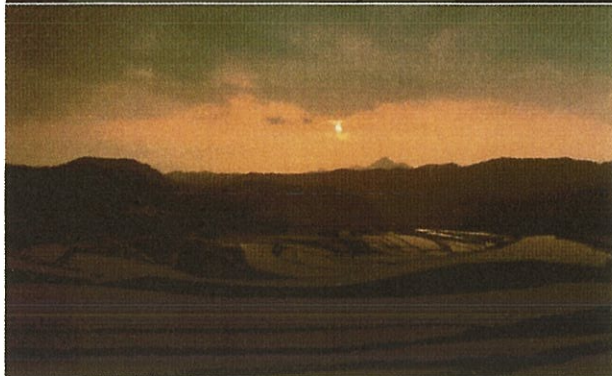
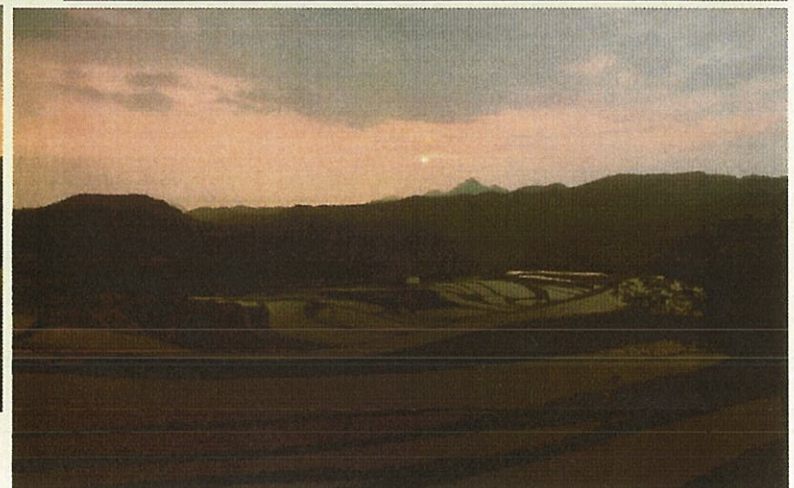
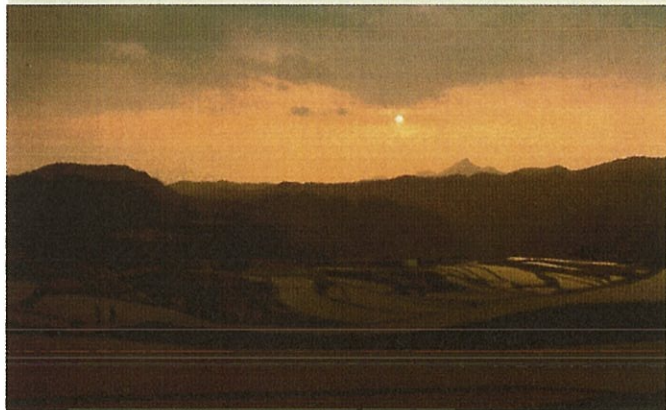
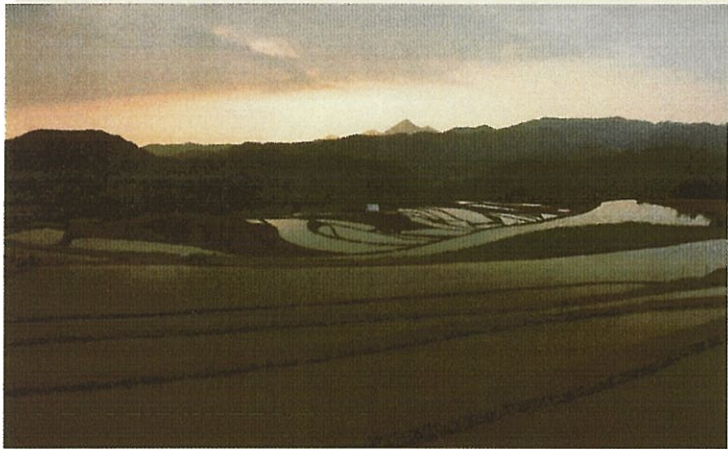
☆農業指導者 池谷さんより野菜作りについて講義を行いました



☆パンケーキづくり



【ふわふわパンケーキづくり&野菜がおいしくなるドレッシング】
☆立岩ダッシュ村で収穫された野菜を使いました。



- ☆今年の夕陽は、雲に隠れてしまい眺望できませんでしたが、多数の保護者の方が立岩地域を訪れてくれました。
- ・本日のお土産は、赤玉ねぎ、玉ねぎ、じゃが芋、大根葉
 - ・野菜サラダで利用した立岩ダッシュ村産野菜は、ニンニク、キュウリ、玉ねぎでした。

【7月活動】



☆立岩ダッシュ村カレーづくりの説明

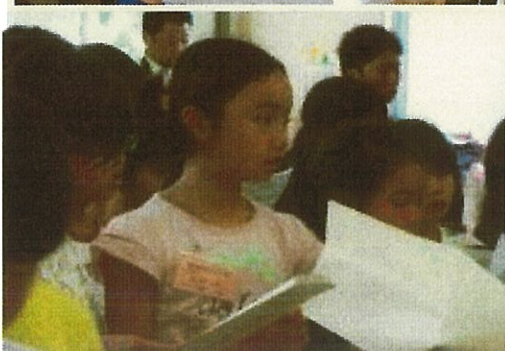
野菜を手分けしてカットしました



※今回のカレーで使用した立岩ダッシュ村産野菜は、玉ねぎ、にんにく、人参、ゴボウ、茄子、ピーマン、ミニトマト、大根です。



↑ 立岩ダッシュ村歌『ありがとう』練習



※8月9日
夏まつり
で、発表



☆販売体験に向けてPOPづくり



☆カレーの試食会
公民館まつりで販売します。



☆おいしくいただきました。



☆田ころがしの道具の説明



☆炎天下の中、水田の中は、冷たくて気持ち良く。水生生物を探している子もいました。



☆大豆の植え付け説明





↑ 落花生の花

← 落花生 花の説明



☆立岩ダッシュ村で
収穫されたスイカを
おやつに食べました。





※今日のお土産

(玉ねぎ、赤玉ねぎ、茄子、人参、
ゴボウ、キュウリ、おかひじき等)

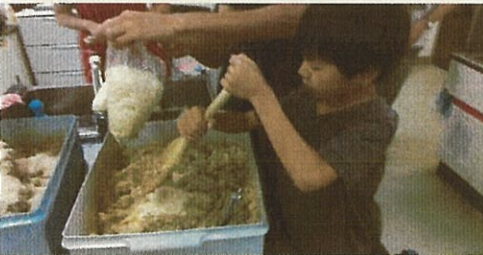
【8月 親子農作業体験(合わせ味噌づくり)】



☆親子農作業体験で、味噌づくりを行いました。



大豆をつぶしています。



大豆をつぶし終えてから、糀を入れ混ぜます。



糀と大豆を混ぜています。

皆の手で、味噌を仕込みました。

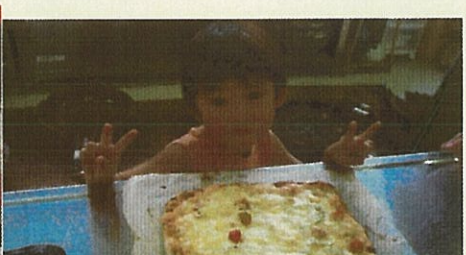


昼食は、ピザです。
生地をつくっています。

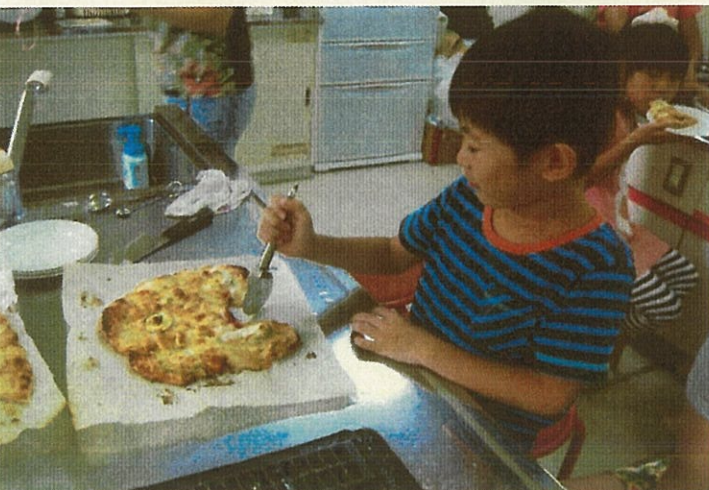
ソースは、味噌ベースです。



個性あふれるピザが出来ました。



具材は、立岩で収穫されたものばかりです。



【親子農作業体験】

☆☆夏野菜(南瓜)畑片づけ作業☆☆

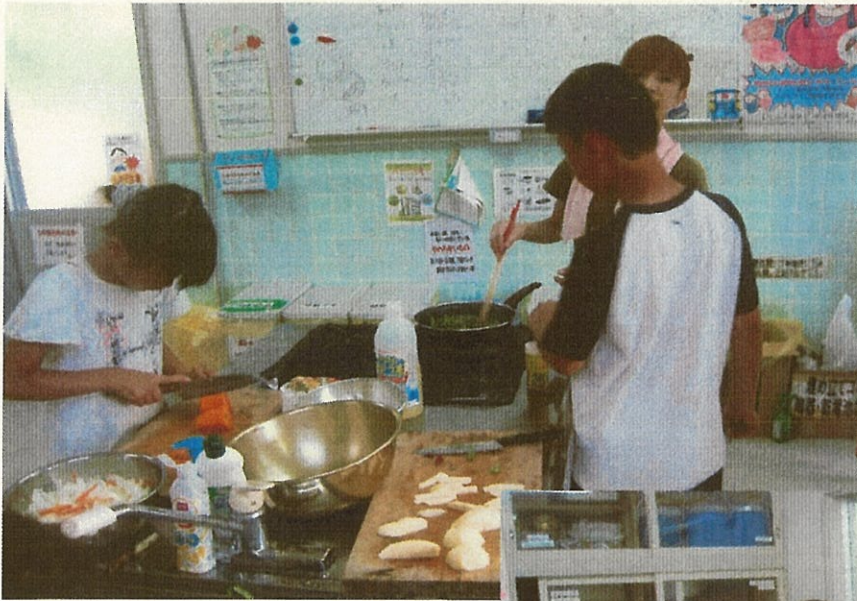


かぼちゃ畑のマルチ除け



立岩ダッシュ村で、収穫されました野菜を
使った調理実習。

収穫物は、ゴボウ、人参、南瓜、
ミニトマト、茄子、エンサイです。
また、調理では、その他に、じゃが芋、玉ねぎ、
唐辛子、ニンニクも使用しています。



← 人参、じゃが芋をカットしました。

かき揚げ、味噌汁用です。

エンサイは、唐辛子、ニンニクで炒めました。



当日収穫された夏野菜を利用した
おかずづくりをしました。

好き嫌いはありませんでしたが、美味しくいただけました。



《献立》

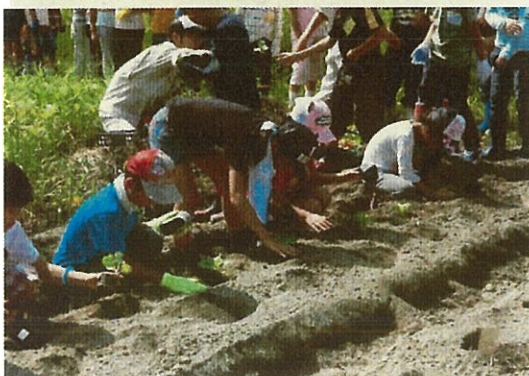
- エンサイの炒め物
- 茄子の漬物
- ミニトマト、茄子、南瓜の素揚げ
- 人参・ゴボウ・玉ねぎのかき揚げ
- ゴボウ、じゃが芋、玉ねぎ、人参、
- ダッシュ味噌の味噌汁
- じゃが芋のフライドポテト



【9月活動分】



歩いて、ダッシュ村圃場へ



↑
秋・冬野菜の植付
説明
(白菜・キャベツ・
じゃが芋・大根)





↑ 白菜の定植



↑ じゃが芋植付け



大豆除草→



↓さつまいろ
除草



↑ ブロッコリー植付け説明



カリフラワー定植



← 冬野菜の種まきをしています。



【農作業終了後】

販売体験に向けて、
POPづくりを行いました。



11月8日に、風早レトロまつりで、
『合わせ味噌』、『豚汁』販売予定

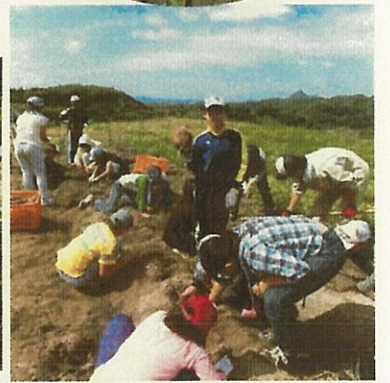
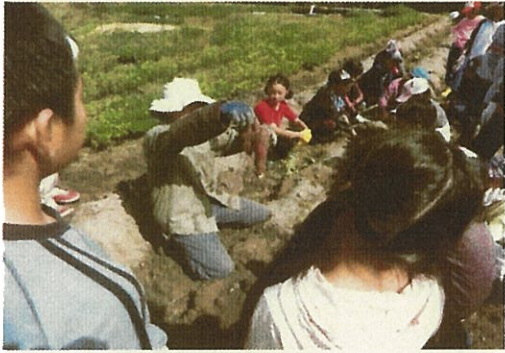
【10月活動】

《稲刈り》





《さつま芋収穫》





農作業の後は、おにぎりとお汁をいただきました。



販売体験用Tシャツづくり





販売体験用ユニホームが、出来上がりました。
11月8日の風早レトロまつりの時に、着用します。



☆昼食づくりを手伝っていただきました保護者の方たちお世話になりました。
子ども達・地域の方達もおおいしくいただきました。

〈今日のお土産〉
ひょうたん南瓜、じゃが芋、玉ねぎ、大根葉、
みぶな、水菜、茄子

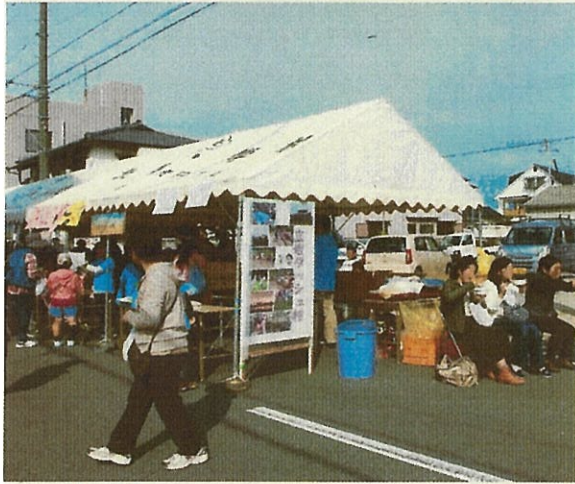
販売体験(風早レトロまつり)



【笑顔で販売】

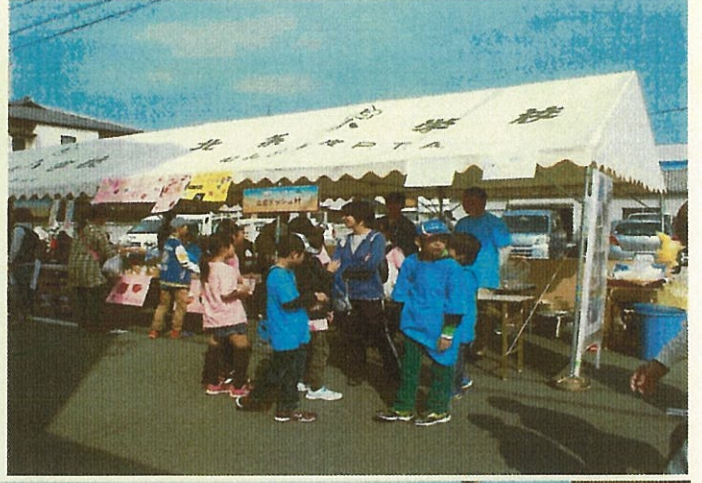


販売物: 合わせ味噌、豚汁、甘酒



オリジナルTシャツを
着て、営業しています。







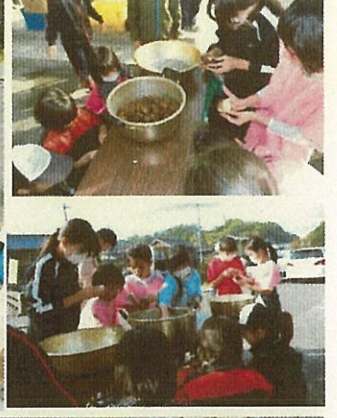
豚汁に使用しています『合わせ味噌』は、子ども達がつくりました。



子ども達は、午前中のみ
昼からは、学生たちが頑張りました。



【11月活動分】

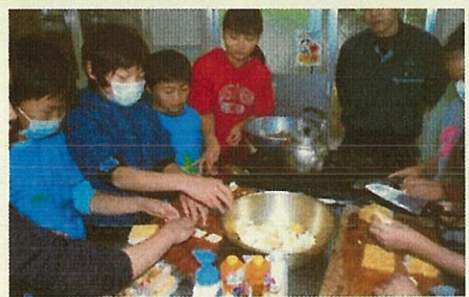
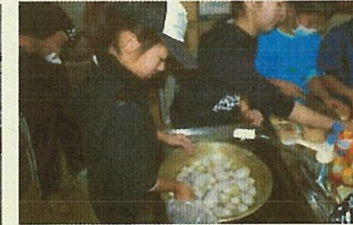


☆活動は、芋炊きつくり



☆こんにゃくを、食べやすい大きさに切ります。

☆自分達が育てた人参



☆味噌作り用の大豆の選別

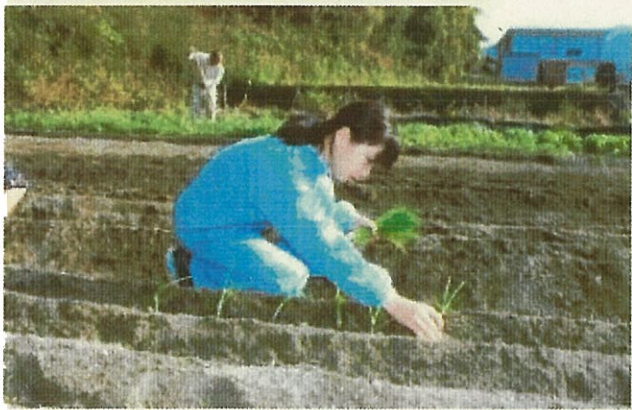




←池谷農業指導員の説明



☆玉ねぎの定植





☆学生スタッフの指導で玉ねぎを定植しています。



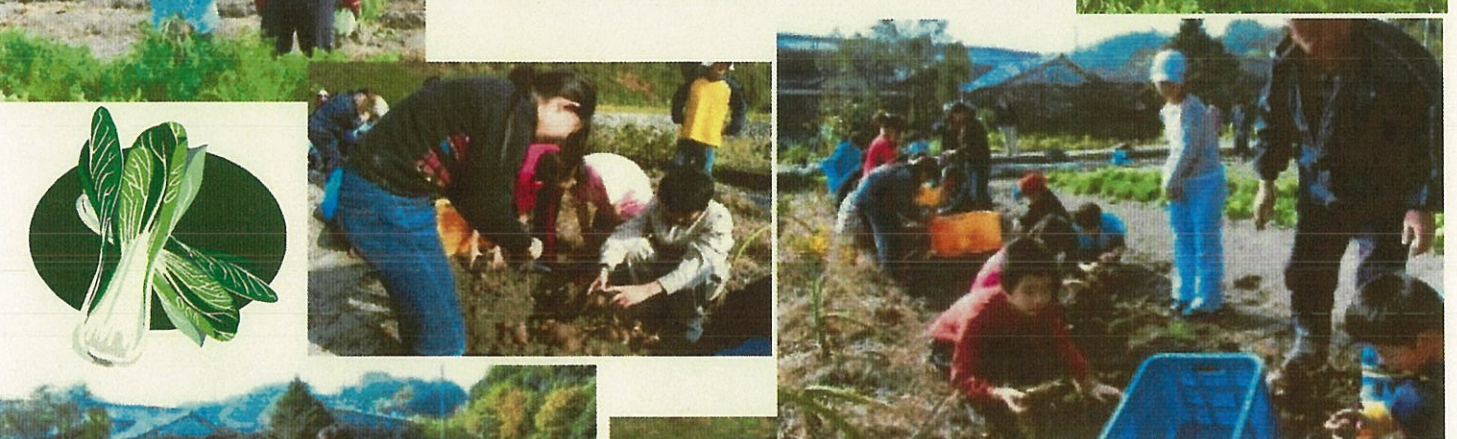
☆水菜の収穫



☆カブの収穫



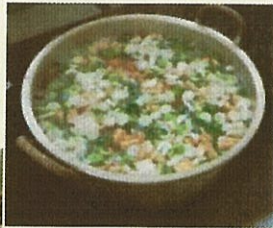
☆野菜も沢山収穫



【11月後半活動】



☆芋炊き試食会



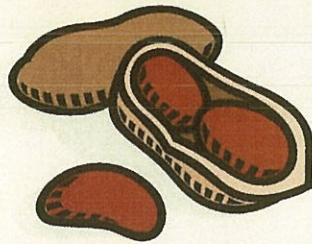
←芋炊き出来上がり



☆大根収穫



☆落花生の収穫

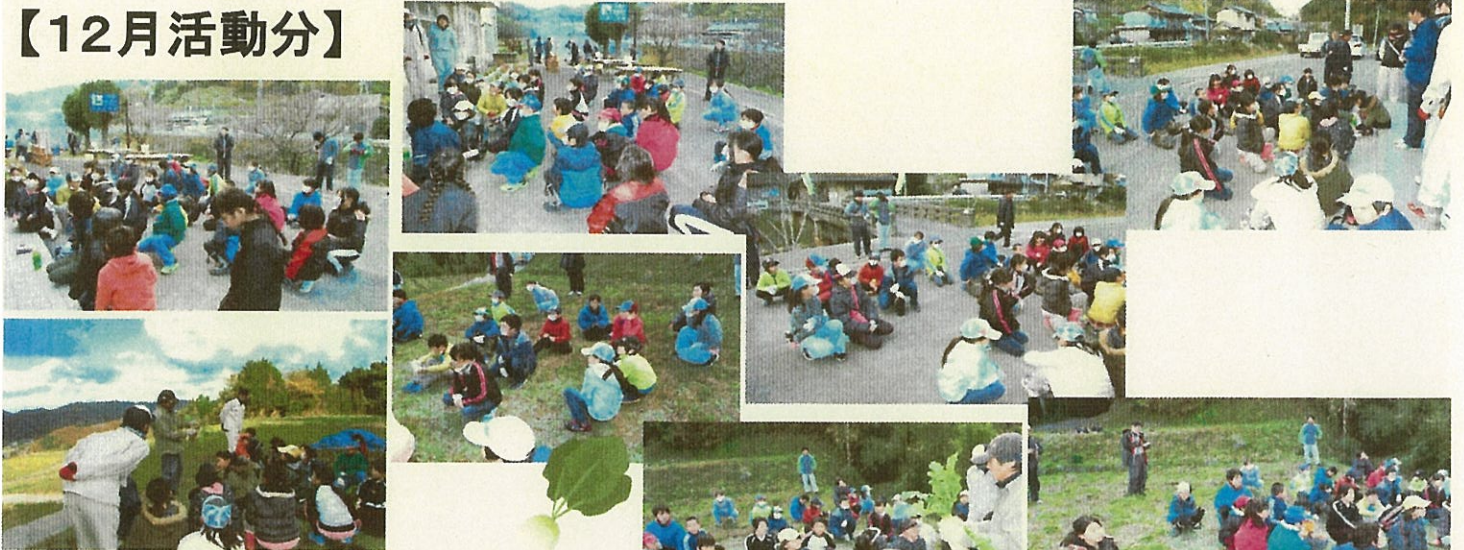


☆お土産

・大根、水菜、ブロッコリー、みぶな、
ほうれん草、カブ、里芋、さつま芋



【12月活動分】



☆農業指導者 池谷さんから
大根について説明です。



☆大根の収穫を楽しんでいます。

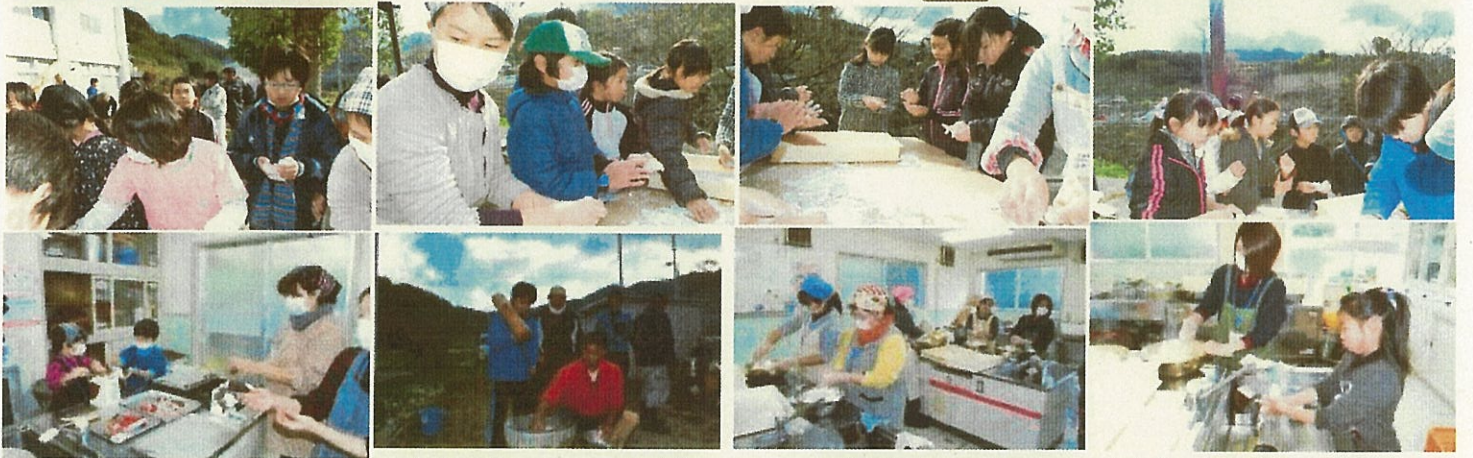


☆キャベツは、地域スタッフの方に
選んでいただきました。
子ども達は、運搬です。





☆地域、保護者、参加者、協力しての餅つき



☆餠切中

☆地域スタッフと餅つき

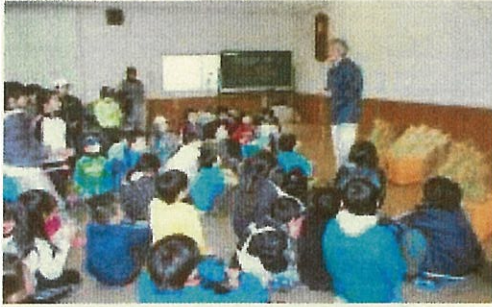
☆保護者の協力で、昼食づくり



☆『だいがら』で餅つき



【しめ飾りづくり】



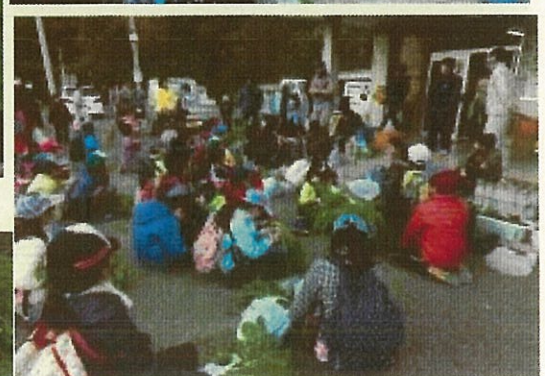
☆地域スタッフによる説明



☆地域の人に教えてもらいながら作っています。



☆皆で、記念撮影



☆お土産を分けています。

昼食の豚汁 ⇒



【1月活動】



一日のスタート



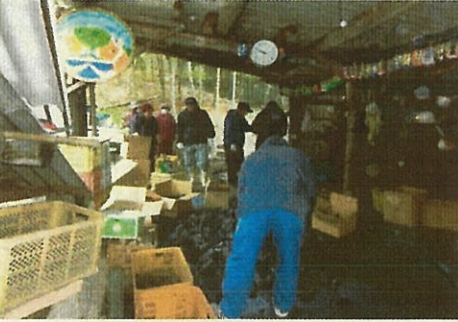
☆村長あいさつ



歩いて、炭窯へ



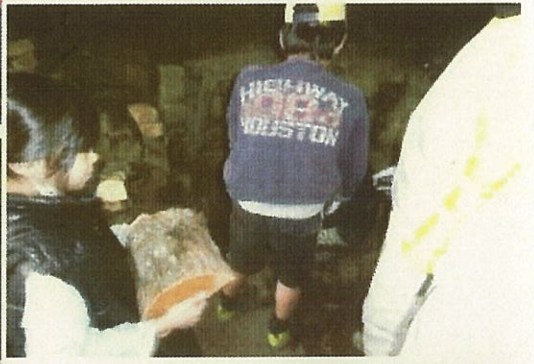
☆炭窯の説明を受けています。



☆炭だし手伝い

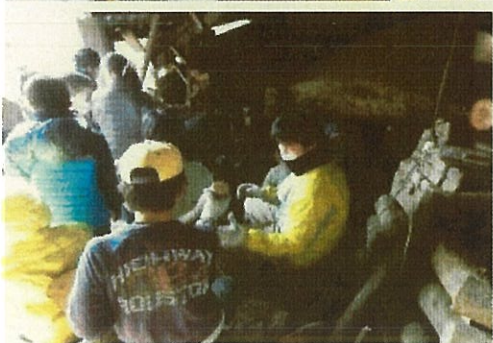


☆炭の選別作業



【立てこみ作業】

☆炭窯からみたダッシュ村圍場





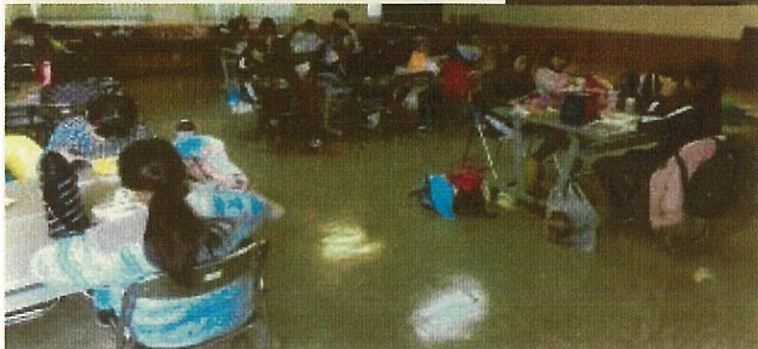
☆炭づくりグループの方よりみかんをいただきました。



☆ご指導ありがとうございました。



☆皆で仲良く昼食です。



【後半】



☆味噌づくり 中村先生



『味噌の大切さ』について、講話中



手をきれいにし、味噌づくりを始めます。





☆味噌の完成です。
修了式まで熟成します。

【立岩ダッシュ村歌の練習】



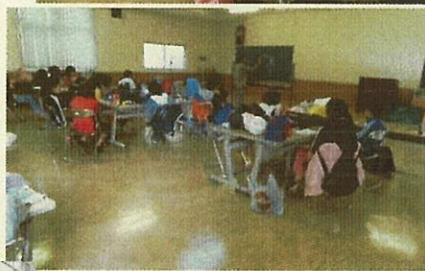
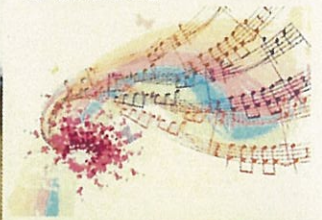
☆地域の方へ、感謝を込めて
作詞されました『ありがとう』



☆感謝をこめて練習
しました。



【炭についての講話】



【終了あいさつ】



☆ お土産の配布
大根、落花生、
ブロッコリー等



【2月期活動】



渡部村長 あいさつ



椎茸原木



お世話いただく地域の方々



冬カレーづくり

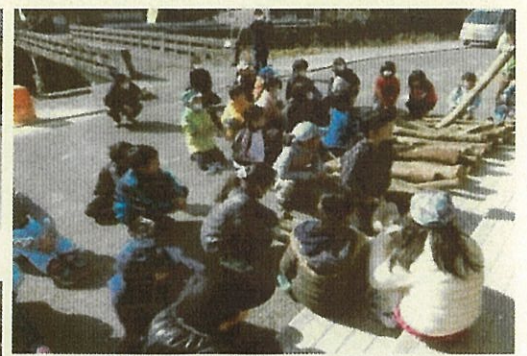


各班ごとに、手分けして野菜を切っています。

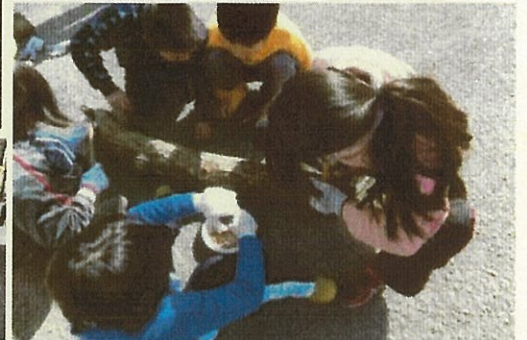


原木に植え付け
準備中





椎茸の植付説明



☆椎茸の菌を受付中



立岩参を使った冬カレー試食会

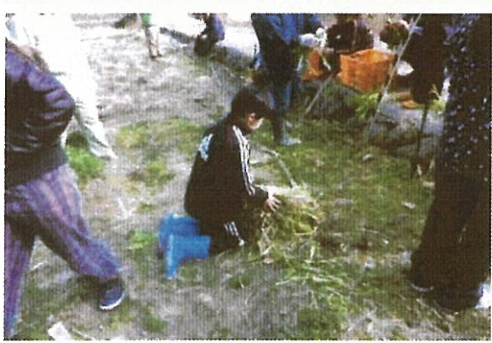


玉ねぎ除草作業



冬野菜の収穫説明

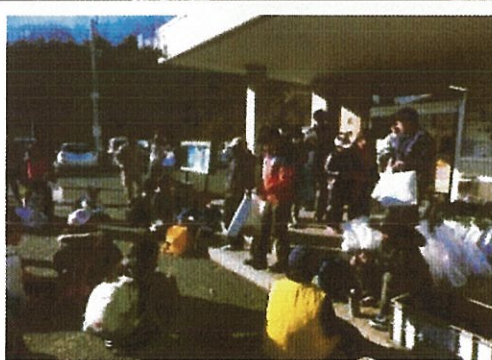




ごみの掃除中



渡部村長 あいさつ



今年も後、1回となりました。
来月の活動にも元気な笑顔を！！

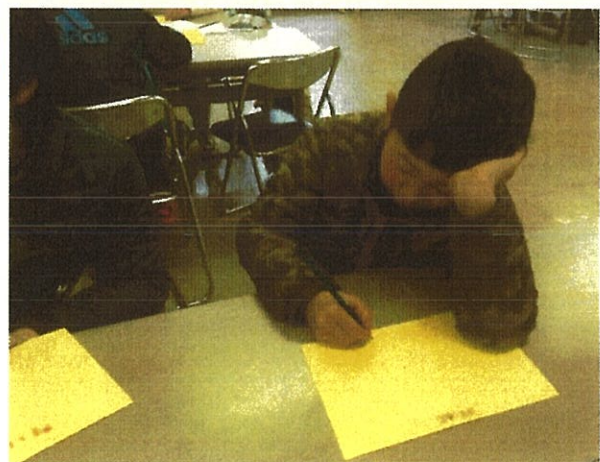
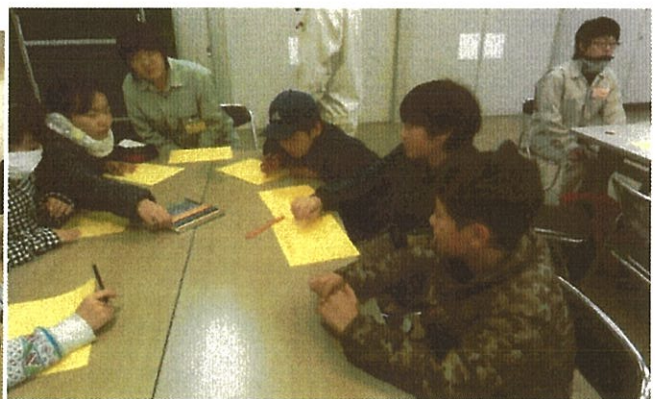


お土産を片手に、帰って行きました。

【3月活動】



☆班別に寄せ書き作成中



一年間の思いを込めて書いています。

【1班】



【2班】



【3班】



【4班】



【5班】



【6班】



☆班ごとに、各個人製作のオリジナルTシャツを着ての集合写真



☆池谷農業指導者に、便利なロープの結び方を教えていただきました。



学生から子ども達へ指導



☆最終日、学生達と一緒に遊んでいます。
学生スタッフの方々お世話になりました。

【修了式】

☆☆ 思い出発表 ☆☆

立岩での思い出を、
地域、学生に感謝を
込められて発表しまし
た。



立岩ダッシュ村の歌披露



渡部村長 あいさつ

作詞・作曲 中村和歌さん

立岩ダッシュ村も6年目を終わりました。参加者がこの立岩で過ごした今までの思いを一つの詩にまとめ、中村先生に作曲していただき、立岩ダッシュ村の歌『ありがとう』を昨年の7月に制作しました。

8月の公民館まつりが中止になり、地域の皆さんの前で発表出来なかったため、修了式で地域スタッフへ感謝の気持ちを込めて歌いました。



児童代表から地域の方へ味噌の贈呈



修了書 受領



【記念撮影】

「立岩ダッシュ村」修了式



☆☆一年間お疲れ様でした☆☆

「立岩ダッシュ村」農業体験学習 事前アンケート

児童氏名()

参加者(お子さま)へ 次の問いにお答えください。

Q1. 応募動機

[]

Q2. この体験学習の目標

[]

保護者の皆さまへ 次の問いにお答えください。

Q1. 応募動機

[]

Q2. この体験学習でお子さまに期待すること

[]

※4月21日(日)の入村式に提出してください。

子ども

☆☆応募動機☆☆

- 1回目楽しいと思えたから 他1
- お母さんに勧められたから 他1
- 味噌作り、種まき、田植え等の楽しそうな活動が沢山あったから。 他1
- 色々な野菜を作ってみたかったから。 他2
- 野菜がどうやって育つか知りたいからです。自分で育ててみたいです。
(お姉ちゃんがしていて、)楽しそうだったから 他9
- 友だちから去年、参加していて、面白そうだったから 他2
- 皆と協力して植えたり販売したりして、色々経験したいと思いました。
友だちが「立岩ダッシュ村」に入っていて、面白そうだったし、農業などが好きだから。他の学校の人と友だちになれるから 他3
- 去年も参加して、とても楽しかったから。またやりたいと思ったから。 他1
- やったことのないことばかりだったので、やってみたいと思ったから
- 普段できないことが出来るからキャンプがあって楽しそうだったから 他1
- 普段、農作業はしないので、野菜を作ってみたかったのと、味噌づくりの方法は、見たこともないし、やったこともなかったの、やってみたかったからです。
- 小学生のうちに色々な体験をしたかったから
- 自然の中で楽しく過ごしたいから 他1
- 友だちと一緒に、味噌や野菜を育てるのが、面白そうだったからです。大変そうだけど、頑張って、いろんなものを作りたいです。
- 農業体験をやったことがないから
- おばあちゃんが畑仕事をして、おばあちゃんが作った野菜が美味しくて、私は「自分で作った食べものはおいしいな」と思ったので、学校で配られた立岩ダッシュ村のお知らせプリントをみて、お母さんが「行ったら？」と、言ったから行くようになりました。
- 美味しい野菜の苗を植えたいから。大人になったら沢山の野菜を作っていきたいから
- 友だちが誘ってくれたから
- 色々な野菜の種をまいたり、収穫をしたりしたい。
- 畑でいろんな野菜を育てる体験が出来て、楽しそうだから。料理が上手に作れるようになれそうだから
- 前、坂本ぼんぼこ村に参加したとき違う学校の人と話すことが出来てとても面白かったから
- 坂本ぼんぼこ村が楽しかった。ダッシュ村にも行ってみたいくなったから
- 昨年、兄がなかじま元気村に参加して、面白そうだったから

☆☆この体験学習の目標☆☆

友だちをいっぱい作ってみんなで協力し合うこと。

他の友だちと仲良くした。

他1

友だちを沢山作って、楽しく活動すること。

他5

皆と協力して野菜を作ったり料理をしたりする。

一生懸命お世話をして、美味しい野菜を育てる。(野菜の育て方を学ぶ)

農業をしっかり学ぶ、友だちと協力しあう。

山にのぼって田植えをして、お米を収穫したいです。

他の学校の人と友だちになることと、真剣に農業体験に取り組むこと。農業の大変さや苦勞をすること。

友だちを沢山つくる。やり始めたことは、最後までやり遂げる。

他5

皆で楽しく一年間すること

他1

自分でつくることによって、嫌いな野菜を無くしたいです。それと、農作業を通して、色々な人と仲良くなってみたいです。

一年間の野菜づくりを通して、作業の大変さを知り嫌いな野菜も残さず食べられるようになること。知らない人達と協力して活動しながら、コミュニケーション力を身につけたいから。

農業の野菜の植え付けなど色々なことを覚えたり参加している人に自分から積極的に話したりしたいです。

一生懸命、作業をしたり皆と協力して、色々な物を作りたいと思います。

いろいろなことにチャレンジしたい。

学習を通じて友だちと努力して仲良く。

楽しく畑仕事をして、いい体験にしたいです。そして、生活に活かせるようにしたいです。

農業についてあまり知らないなので、物知りになること。

色々な勉強などもしたりして、野菜作り名人になりたい。

外でいっぱい遊びたい。

お米でお餅を作って食べてみたい。

農作業が上手になるように頑張る。

収穫のやり方や苗や種の植え方、扱い方を知って覚えたい。

知らない人の中で頑張る。

友だちは、今年のダッシュ村に4人いるけどもっと沢山友達をつくりたい。

自然の中で新しい友だちや、野菜などの育ち方など色々体験したいと思った。

自然になれて、もっと外に出たり、野菜と触れ合うこと。

大きなじゃが芋をとること。

畑でがんばる

保護者

☆☆応募動機☆☆

農業を通して人生の経験を豊かにして欲しい。

自然の中で野菜を育て、収穫するといった経験がないこと。普段、当たり前食べている野菜だが、農家の人の苦労があることなどを体感してもらいたいと思い応募

子供が参加したいと言ったから。家庭では、体験できないことをすることで子どもの成長がみられると思ったから。

中々農業を体験する機会がなく、野菜がどのようにして作られているのかを知って欲しいと思い応募させていただきました。

姉が今までのダッシュ村に携わり年に2回ほどの親子参加の時に、●●も参加しました。4年生になり一年間ダッシュ村で農作業やキャンプなどを通じて家では学ぶことの出来ない体験をしてもらいたく応募しました。

娘が色々なことを経験して、自分自身の為になれば良いなという気持ちと、なかなか土とふれあうことも少ないので、良い経験になると思いました。

農業体験を通して、皆と協力する気持ちを持って欲しいです。いつも食べている野菜やお味噌など、どのように出来ているのか有難さを感じて作業してもらいたいです。

数年前、近所の方が参加し、体験内容を聞いて子どもが興味を持っていたため。

去年も参加させて頂いて、本人がまた参加したいというので応募しました。

子どもが、野菜の成長の様子や、味噌はどうやって作られているのかなどなど、食育に興味が出てきたので、子どもと相談して、思い切って応募しました。

TOKIOのTV「鉄腕ダッシュ」が大好きで毎回、楽しみにみており、野菜づくりなども興味を持っていたようです。募集のチラシをみて自分から進んで参加したいと言ったので応募しました。

昨年度、参加した方から、とてもよかったと聞いたので、是非、体験させたいと思い応募しました。

長男が参加して非常によい体験が出来たから

普段、室内で遊ぶことが多く、友だちもごく限られた人と遊ぶので、外で元気に活動し、色々な人と触れ合って、友だちの輪を広げて自分の世界を広げて欲しいと思い応募しました。

自然と触れ合う機会を増やしたいことと、息子の祖父は、農家でしたが、高齢になり、農業をやめたので、息子にはこの体験を通して農業大変さや収穫の喜びを感じて欲しいと思い応募しました。

子どもが参加希望していたから 他2

友だちの母より誘われたから、興味はありましたが、一人だと不安でした。締切りギリギリの申し込みになりましたが、応募出来て良かったです。

兄が参加させて頂き、とても良かったので

なかなか経験できない事で、子どもの為にも良い思い出になると思った。子どもが行ってみたいと言ったから

色々な体験をさせたかったから

今年、3年目のダッシュ村です。今まで上級生にダッシュ村の皆さんに教わったことを下級生に伝えていけるようになって欲しいです。

年間を通しての活動で、本格的な農業体験が出来るところに、魅力を感じ応募しました。

土いじりが好きで花や野菜を育てることに興味を持ち始めましたが、家では、スペースがなくて、思うように出来なかったから、ちょうどよい機会だと思ったから

自然の中で農業体験をすることで、作物を育てる喜びを感じたり、また、楽しいだけではなく、作業の大変さも分かって欲しいと思ったから

友人が誘ってくれたので、参加することにしました。

農業への理解を深めること、協力し、自分から役割を果たす積極性を身につけること、天候から土にいたるまで自然に触れることを期待して、応募しました。以前に、長男もお世話になり、大変有意義な体験でした。

身内に農業に関わる人がいません。毎日、口にしている野菜は、どのように育てているのかを一年通して体験して欲しいという思いがあります。あと、性格が、先々のことを考えすぎてしまい不安になりやすいので新しい環境でも自分1人で大丈夫だということを学んで欲しいと思いました。

昨年、ぼんぼこ村に参加したところ、とても楽しい一年が過ごせたようで、本人が参加したいということで、申し込みました。

家庭では出来ない体験を沢山してもらいたいと思いました。

家では出来ない農業を体験させたい。

兄がずっと参加していたので、本人は参加することを心待ちにしていました。

自然の中で、色々な体験をしてもらいたい。

誰とでも友だちになれるようになれば良いと思って参加することにしました。農業体験があまり機会がなく、理科は興味関心を持っているので、よい勉強になると思います。

以前上の子が参加した時に、自分も行きたいと言っていたので

昨年、姉が参加させていただいてとても楽しく、家庭でも自律出来たから。

何にも興味がある子どもなので、少しでも色々なことを体験させてあげたいと思いました。

子供の友だちが楽しそうに行っている話を聞いたので、いろんな体験を通して人とのつながりを大切にしたいと思いました。

農作物を作ることにより、豊かな自然の成り立ちを学習するとともに、多孔性と知り合うことにより、社会性を広げ、また、協調性を身につけて欲しいと思ったから

☆☆お子さまに期待すること☆☆

みんなと楽しく農業体験をすることを期待します。

協調性を身につかせること。 他1

農作業を通して働くことの大切さや喜びを感じることを、また、野菜づくりの大変さを知って、食物のありがたみを感じて欲しい。新しい友だちと協力して作業をすることで協調性を身につけて欲しい。

自分が野菜作りを体験することで、収穫するまでの苦労を知り、食べ物を大切にすることを学習して欲しいと思っています。

作物を育てる大変さ、楽しさ、収穫の喜びを肌で感じて欲しいです。野菜嫌いが少しでもなおることを期待しています。

「作る」ことの大変さと「大切に食べる」という気持ち。他校、他学年との交流で人間関係を築く大変さ、大切さなどを学んで成長して欲しいです。

人見知りで、初めての人と触れ合うのが苦手です。色々な人と話したりコミュニケーションを取って欲しいです。

農業体験をすることにより、植物の栽培方法や成長を知り食べ物を大切に扱うようになってもらいたい。また、知らない友だちとの新たな出会いを経験し、世界や視野を広げてもらいたい。

自然とふれあい、普段経験出来ない体験をして色々な知識を身につけてもらいたい。友だちを沢山作ってほしい。

学校以外で親元を離れての体験は、まだまだ少ないので、どれもドキドキ楽しみないい体験になってくれると思います。食育について、学んだ事でもっともっとおいしく楽しく食べれるようになったり、感謝できるようになると嬉しいです。

初めての体験ばかりだと思いますが、楽しんで活動して欲しいです。

協力することや作物の成長過程などを通して、沢山の学びを受けとめて欲しいと思います。

色々な体験をして、感謝する気持ちを育てて欲しいと思います。

自然の中で体を動かし、汗を流して収穫を得ることで、育てる喜びや命の大切さを知って欲しい。野菜が口に入るまでに、いろいろな苦労があることを知り、感謝の気持ちを忘れない人になって欲しい。労働の喜び、人の役に立つ喜びを感じれると良いと思います。

仲間と活動を共有することにより、コミュニケーション力を高める共に、何事にも積極的に取り組めるようになって欲しいと思います。

色々な初めての経験し、豊かな心を育てて欲しいと思っています。

農業、食べることを通して、豊かな人間性が育成されることを願っています。食べるものが時間をかけてつくられることを知り、ご飯を残すことが無いよう必要な分だけを取り分けるなど、食物を大切にしたいです。

友だちを沢山作り、協力することの楽しさなどを学んで欲しいと思います。 他1

農業体験を通して食べ物の大切さや、農家の方への感謝の気持ちを持って欲しい。

色々なことに挑戦して楽しんで欲しい。

作物を育てるための努力、労力は感じているようです。この一年間は、6年生としての自覚、集団行動など身につけて欲しいと思います。

農業体験は、楽しい面ばかりでなく、忍耐強さ等も必要になるかと思っています。こうした中で体力、精神力を養ってほしいと思います。

沢山の郊外のお友だちとの交流や自然とのふれあい、一人で出来ることへの自信を身に付けて欲しいです。

他の学校の仲間と協力する楽しさを感じて欲しい。作物を育てたり、収穫する喜びを感じて欲しい。

農作業を体験したり、他校の小学生と交流したりすることを通して、今までと違った体験をさせたいと思っています。

協力の中で、自分から役割を見つけ果たして欲しいと思います。

とにかく、沢山の事を見て、体験して、感じてきて欲しいです。沢山の友だちや大人の方と自然の中で触れ合って欲しいです。

前は、同年代の子供さん同士で、あまり親睦が深められなかったという本人の反省だったので、そのところが達成できることを期待しています。

育てることの楽しさ、食べることの楽しさ、仲間とのふれあい。

自分の意思を人に伝えられるようになって欲しい。知らない人とも仲良くなって欲しい。

体験を楽しむことはもちろんですが、一番彼に願うのは、知り合いのいない環境の中で、自分を出せることです。(緊張感が強い子なので。)

食べ物の大切さや一緒に体験する参加者で友だちを作って協同作業をして欲しい。日頃中々体験できない味噌づくり、しめ縄づくり、販売体験など色々なことにチャレンジしてもらって、楽しんで欲しい。

自然に対する興味が深まり、一人でも多く色々な友だちやスタッフの方と交流ができ、成長できればと願っています。

農業の大変さから食べもののありがたみを理解して欲しい。

大きな心を持って人とのふれあい。また、野菜など土をさわり育てていくことを体験し、色々感じて欲しい。

自分で考え行動すること。めいっぱい楽しんでくれること。

挨拶や、目上の人への礼儀などを身につけて欲しいです。

色々なことを経験し、1年後、心の成長を期待しています。

食べることの大切さ、尊さを学習できればうれしいです。楽しく、新しい発見を沢山作って欲しいです。

立岩ダッシュ村 中間アンケート(保護者用)

実施日:平成26年10月4日

(小 年)児童氏名 _____

保護者氏名 _____

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、立岩ダッシュ村農業体験学習は、4月開始以来、予定の半分まで実施しましたので、現時点での本事業についてのご意見をいただき、今後の参考にさせていただきたく、下記の設問にお答えいただきますようお願い申し上げます。

誠にお手数をおかけしますが、10月の活動時(10月4日)に回収させていただきますので、お子様に預けていただきますよう、併せてお願いいたします。

Q1, 立岩ダッシュ村に参加して、家庭生活でお子様が変わったところがありますか？

例)持続力(根気)、協調性、体力、積極性などの変化

Q2, 農業活動において、種まきから収穫まで行い、更にカレー作り等を通じて「食育」につなげて実施していますが、「食育」の観点からお子様の変化は見られますか？

例)食べ物の好き嫌い、食物の大切さ・生命の大切さについての考え方の変化

自由意見(立岩ダッシュ村のことなら何でも書いてください)

以上

ご協力ありがとうございました。

今後ともよろしく願いいたします。

松山市教育委員会 地域学習振興課

(担当)安永

(電話)948-6813

1 立岩ダッシュ村に参加して、家庭生活でお子様が変わったところがありますか。

・体力はついたと思う。

・夕日眺望の時、他校のお友達と打ちとけて、仲よく楽しそうに接しているのを見て、安心した。(普段は、引っ込みじあんなので)

・田舎暮らしに興味を持つようになった。

・知らない人ばかりの中での活動だったので心配していましたが、年上の子ども下の子ども仲良く出来ているようで、協調性も積極性も増してきたように感じます。

・スーパーに行ったとき、野菜売り場で足を止めて色々教えてくれるようになりました。長い時間の活動で、初めは疲れて帰っていましたが、段々と慣れて体力がついているようです。

・6年生になり以前より積極的になった。物事を順序良く組み立てて話をするようになった。

・少し行動が早くなりました。

・体力、積極性がかなりついたと思います。

・料理の手伝いも興味を持って進んで手伝ってくれるようになりました。

・知っている子もなく、一人で参加しましたが、色々な友だちに声をかけてもらって、楽しく活動出来ているようです。

・夕食をよく手伝ってくれるようになった。(他1)

・自分の役割として決めた家の手伝いを、責任感を持って全うするようになりました。

・色々な行事に参加したり、リーダーシップをとれるようになったような気がします。

・4月のころは、新しい友だちが出来るか、少し心配していたようですが、今は慣れてきたようで、どんな子ども仲良くなる事が出来るんだと、少し自信がついたようです。

・結構疲れるようで、休みたいそうにするときもあるのですが、励まして何とか参加した後は、「疲れるけど、やりがいがあって楽しい」と言っているのが成長を感じる事が出来ます。

・色々なことにチャレンジをしてみようという気持ちが出てきました。

・誰とでも仲良くなれる。相手の良いところを見つけられる。

・目立った変化を感じることはありませんが、友だちが出来たようで、体験学習を通じて”人とのつながり”を肌で感じているように見えます。

・自分で考えて行動を起こすこと、人を助ける気持ち。最後まであきらめないこと等、成長が見られます。

・家庭で野菜づくりをしていましたが、全く興味がありませんでしたが、ダッシュ村に参加してからは、「種まきは・・・」などと言いながら手伝う姿が見られるようになりました。

・午前・午後と作業をしているので、体力はついているのではないかと思います。

・元々、先読みしすぎて不安が膨らんでしまうタイプなので、参加するときは”1人ぼっち”になるんじゃないかと不安を感じていました。同じ班にお友達も出来て(毎回、不安は口にしますが)参加中は楽しんで作業に頑張っているようです。もう少し積極的になってくれればと思っています。あと半年後の変化も楽しみです。

・体力がついてきたように思います。野菜の名前を沢山おぼえてきたようで、近所の畑で出来ている野菜の名前を教えてください。また、おじいちゃんの畑の収穫も手伝いに行っています。

・全てにおいて向上していると思います。

庭に植えた野菜や草花の世話をし、大切に育てるようになりました。

・知らない子どもの中や親のいない環境の中でも楽しむことが出来ている。

・嫌なことも嫌がらずにするようになった。

・ダッシュ村で新たに異小学校の友人が出来たり野菜の植え付けなどの話をいきいきと楽しそうに話してくれる。

- ・農作物に対する興味が高くなった。協調性が出来てなんでもよく食べるようになった。
- ・学校でも自分からリーダーに立候補する等、積極的な面が多くなったようです。
- ・楽しみに他校の子たちに会うのをしています。
- ・ダッシュ村から帰るとかなり疲れるらしく、ぐったりしていますが、次の時にも休むとは言わず、続けようとする根性が見られ、いい意味で少し驚きました。
- ・虫が嫌いな子ですが、毎回楽しめているようです。
- ・誰とでも仲良くなれるよう自分から声を掛けてみるなど、以前から苦手だったことが、今の時点でも変わらない様子です。後半に期待しています。

2 農業活動において、種まきから収穫まで行い、更にカレー作り等を通じて「食育」につなげて実施していますが、「食育」の観点からお子様の変化はみられますか。

- ・食事のバランスなど気にして、自分から言ってくるようになった。
- ・以前より積極的に料理のお手伝いをするようになった。
- ・苦手だった野菜も少しずつ食べるようになった。
- ・立岩でいただいた野菜を食べるとき、家族にその日にした事を説明してくれます。私たち、親に農業経験が全くないため、知らないこともあって、息子を通じて勉強させていただいています。
- 自分で育てた野菜を持ち帰って調理し、家族にふるまってくれることもある。遊びながらしていた料理も今は大切に食材を扱い丁寧にしていると思う。
- ・食べものを大切にします。食べ残すことを嫌がったり、妹の好きなものを持って帰ったり、選んだりするようになりました。
- ・妹が残すと”これ作ってくれた人がいるんよー”と、教えてくれます。
- ・実際に土の中の作物や野菜の育つ様子を見て、少し驚いたり、感動したりしているようです。大きさなどもバラバラだし、野菜の香りなども強いので、興味深く感じているようです。
- ・今まで食べなかった野菜を食べるようになりました。また、種から育てることによって、食物の大切さを充分に感じるようになったと思います。
- ・野菜を美味しいと言って食べ、色々な野菜が食べれるようになった。食事の時に、「おいしい」と言ってくれるのが、一番うれしいです。立岩ダッシュ村から持ち帰った丘ひじき、みそとてもおいしくて感動でした。
- ・野菜に興味を持つようになり、名前を覚えたり、この野菜はいつの季節だろう・・・？と少し考えるようになったと思います。
- ・野菜を育てたり収穫することに興味を持ちました。
- ・残さずよく食べるようになりました。調理にも興味を持ち、作ってもらったものを感謝して食べるようになったと思います。
- ・今までは、調理された野菜ばかり見ていたので、野菜の収穫や世話を通して野菜の形や色を知り、残さず食べるようになりました。
- ・子ども達が育ててくれた野菜を親も感謝して食べるので、本人も食べ物に対して感謝の気持ちを持ってきているのはと感じています。
- ・スーパーなどでしか野菜を見たことが無かったのですが、実際に収穫してみて「こんな風に土に入っているんだ」などの発見があったようです。「ダッシュ村のカレーは水を入れんよ」と嬉しそうに話してくれています。
- ・「茄子」は、あまり好きではなかったのですが、カレーに入っているのはおいしく食べれたようです。働いた後のご飯は、特に美味しかったようです。
- ・食べ物大切さや、好き嫌いが少しだけ減ったような気がします。
- ・食べず嫌いだった野菜も少しずつチャレンジしていけるようになった。
- ・教えて頂いたことを実際に家でもやってみたいと考えるようになっていきます。ゆでたまごに始まり、カレーづくりまで、すでに家族に対してやって見せてくれています。野菜をただ「食べる」だけではなくなっているので、頼もしく思います。
- ・実家の家庭菜園などに興味をもち、収穫の喜び、それまでの大変さを少しわかったようで、精米・洗米も進んで付き合ってくれます。

- ・野菜を育てることに興味を持ち、自分達の育てた野菜を進んで食べるようになった。
- ・収穫した野菜をいつもいただき、とても感謝しております。ピーマンは、食べられるようになりました。夏休みも読んだ本から食物をいただき、栄養となり、排せつしたものが、また、植物の栄養になることに気づきました。食べ物を残すことが少なくなりました。
- ・いただいて帰る野菜は、とても喜んで大事に食べています。他のものとは、違う気持ちがあるようです。
- ・幼い頃から好き嫌いほなかったのですが、初めて見た食材にも興味を示し、ダッシュ村で教わった方法で食べることを楽しんでます。カレーは、家でも(本人が教えてくれて)つくり、家族が喜んで食べる姿を嬉しそうに見ていました。自分が関わってとれたものを、食べてもらう喜びを覚えたと思います。
- ・料理に興味を持ち始めたようです。自分で作りたくなった感じです。好き嫌いは、元々ありません。
- ・ダッシュ村の人参とスーパーで買った人参の味の違いを感じていました。
- ・調理に興味を持つようになった。産直市などで、変わった野菜に興味を持つようになった。
- ・何でもよく食べる子ですが、自分で収穫などした野菜は、益々おいしそうに食べています。
- ・野菜が好きになった。料理を手伝うようになった。
- ・今まで食べたことが無い野菜でも、立岩から持ち帰った物は、積極的に食べています。
- ・野菜について、よく知っていたりします。
- ・食事を作るとき、手伝いをするようになりました。
- ・自分が採ったものや、もいれすぐの新鮮な野菜はおいしいと言って野菜も良く食べるようになりました。
- ・元々、好き嫌いは、あまりないですが、いただいた野菜を家で調理するととても喜んで食べます。
- ・持ち帰った野菜で、家庭でも料理を作るとき、『これは、立岩の野菜だよ』と言うようにしています。食物の大切さが身についてきているように思います。

自由意見

- ・キャンプが出来なくて残念でした。お味噌美味しかったです。
- ・夏のキャンプが、中止になってとても残念がっていました。あらかじめ予備日を設けてあればよかったかなと思います。
- ・立岩ダッシュ村での月1階の体験は、家庭では出来ないスケールの大きさ、年間通して行うことで、学ぶことの出来る食物の成長を感じることが出来大変ありがたく思っています。その影には、大学生スタッフの方々、地域の皆様、企画・立案・実行して下さる教育委員会の方々がいっぱいいます。大変感謝しております。ありがとうございます。
- ・8月のキャンプ、大変楽しみにしていたのでとても残念でした。何かほかに変わるイベントに無理なんでしょうか？子ども達のワクワク&どきどきが一つ減ってとても残念でした。
- ・もっと、沢山参加出来たらうれしいのですが、小学校最終学年なので、残念です。とてもいい経験になっています。
- ・毎回楽しみに参加しています。農作業や、普段出来ない体験をさせてもらって、子どもにとって、貴重な体験になっていると思います。これからもよろしく願います。
- ・夏のキャンプ、夏祭り参加が中止になったのがとても残念でした(他4)。残り期間、色々な体験に参加させていただけること、とても楽しみにしています。よろしく願います。
- ・良い企画なので、今後とも続けて欲しいです。
- ・子どもにとっては、知らない穴はカウウウやなので、正直行く前は少し嫌がりますが、帰ってきたくらい、いつも楽しかった～！と帰ってくるので、安心します。最初が、参観日のため、自己紹介などを聞いてないので、交流会でも途中(期間の途中)でして下さると、より参加しやすいのではないかと思います。
- ・親も参加させていただく機会が多く、初めて食べる物やいろいろな体験が出来て嬉しく思っています。
- ・マンガやゲーム、お弁当の時に立って食べるなどマナーの悪い子がいるようです。そのことを注意すると少し、いじわるをされたようなので、親としては、やめて欲しいです。
- ・限られた時間の中ではありますが、子ども達に直接体験の素晴らしさを出来るだけお伝えください。流れてしまったキャンプもまたいつか！！
- ・夏のキャンプが、なくなったことが残念ですが、春のつつじまつりは、楽しませていただきました。まわりが自然いっぱい小学校、うらやましく思います。夕日もちよっと厳しかったけど、きれいでした。来年も参加できるといいねって、話しています。
- ・自分の思い通りにならないことも多くあり、ゲームが出来ない時間が苦痛だとも思ったようですが、回数を重ねるごとに、友だちも増えとても嬉しく思っています。大勢の方に、かかわっていただき、本当にありがとうございます。沢山の野菜をいつもありがとうございます。持って帰ってきた子どもの顔が誇らしげなのが、印象的です。その野菜を子どもと一緒に調理できる時間が幸せと感じています。
- ・すべての子どもにこのような経験の機械があればいいのにと感じております。
- ・本当にお世話になり感謝しております。今回、同封いただいたプリントにもありましたが、本来の目的を考えずに参加している児童・保護者がいることが、とても残念に思います。9月の作業では、”頑張った班からお土産を選ばせてくれた”と喜んで帰ってきました。真面目にしているのを、ちゃんと見てもらっていたのが本人にとって、とても意味がありましたし、親としても、とても安心しました。ありがとうございました。
- ・おやつで頂いたスイカの種を土手に座って、飛ばした話を楽しそうにしてくれました。近年出来ないような体験をさせて頂いていることをとても嬉しく思います。
- ・夏のキャンプが中止になったことを、とても残念がっていました。少しでも、何かかわりの行事などあれば喜ぶと思うのですが、難しいでしょうか？
- ・お味噌が美味しかったです。キャンプが、中止になって残念です。帰宅後、どんな作業をしたか話してくれます。家では、私が教えられないことを経験させていただいて、ありがとうございます。
- ・ダッシュ村に参加するのを、毎回とても楽しみにしています。
- ・毎回、楽しく参加しています。持って帰った野菜も爺ちゃん達に、おすそ分けしています。
- ・普段の生活では、触れることの少ない農業や土いじり・種や苗を見て、植えるといった貴重な体験をさせてもらえることをありがたく思っています。

立岩ダッシュ村 中間アンケート(児童用)

実施日:平成26年10月4日

(小 年)名前 _____

次の質問に答えてください。

Q1. 立岩ダッシュ村に参加して良かったことは？

Q2. 農業体験学習についての感想

Q3. 立岩ダッシュ村に参加してから、学校生活や家庭で自分が変わったところがありますか？

Q4. 立岩の印象(いんしょう)や農業を教えてください先生についての感想

Q5. これから、立岩ダッシュ村でやりたいことはありますか？(あればどんなこと？)

自由意見(立岩ダッシュ村のことなら何でも書いてください)

1 立岩ダッシュ村に参加してよかったことは

- ・野菜の植え付けの仕方や収穫の仕方を学んだことです。(他3)
- ・野菜が持って帰れること。
- ・友だちが増えたこと。(他13)
- ・友だちじゃなくても、協力出来てうれしい。(他1)
- ・いろいろな農業が出来て楽しい。(他2)
- ・色んな野菜が見て食べるのが良かった。
- ・色んな体験が出来る。
- ・はじめての田植えが出来たから
- ・野菜のことが良く分かりました。(他3)
- ・家や学校などで、野菜を植えるとき、教えることが出来る。
- ・農業に親しめたこと
- ・野菜を育てる事が出来るし、食べることも出来るし、友だちもつくれること。
- ・友だちが出来たり野菜を植えたりして、楽しかったです。
- ・協力が大切だと気付いた。
- ・農作業を通じて、作物をつくる大変さや苦勞がわかったこと。(他1)
- ・いろいろな人と農業体験をするから楽しい。
- ・美味しい野菜が食べれること。
- ・自分たちが一生懸命つくった野菜やカレーづくりで、頑張ったかいがあったと感じた。

2 農業体験学習についての感想

- ・すごく楽しくて、友だちも出来た。(他2)
- ・いつも上の畑に登るのは、大変だけど、色んな体験が出来て楽しい。
- ・稲刈りとかが好きなので面白いです。
- ・農業のやり方が良く分かった。(他1)
- ・自分たちで育て、(大変だけど)自分達で収穫するのが楽しい。(他5)
- ・採ってすぐの物を食べれたりするので、うれしい。(他1)
- ・種まきや収穫、お世話は大変だけど、美味しく出来たから楽しい。(他8)
- ・野菜などの育て方などが、色々勉強出来ていい。(他3)
- ・苗を植えるのが難しかった。
- ・草抜きなどは、あまり好きじゃないけど、友だちと一緒にすると楽しかったです。
- ・しんどくて疲れることもあるけど、出来たらとてもうれしい。
- ・キャンプが無くて残念だったけど、友だちが出来たし、育てる楽しさが分かりました。
- ・農家の人の苦勞が知れました。
- ・この体験を通して農業の大変さを知ることが出来ました。
- ・工夫や秘密などを知って、皆にも教えることが出来楽しい。
- ・知らなかったことを沢山知れました。
- ・今の時代では、作業用の機械があるけど、昔の時代ではすべて手作業であったり、鍬や鎌などでやっていたので、そういうのをやってみて、改めて大変で手間がかかることが分かった。

3 立岩ダッシュ村に参加してから、学校生活や家庭で自分が変わったところはありませんか。

- ・人に野菜の植え方などを教えるようになった。(他1)
- ・ご飯・おかずを残さず食べれるようになった。(他4)
- ・野菜のことを詳しくなった。(他1)
- ・料理をよくするようになったこと。(他1)
- ・野菜が好きになった。(他1)
- ・理科の授業のとき、何の葉か聞かれたときに、答えれるようになった。
- ・何事にもチャレンジして、あきらめないこと。
- ・協力して野菜を育てるのは大変なんだということを感じるようになりました。
- ・ご飯を食べるときに、いつもよりもっと感謝して食べるようになった。
- ・好き嫌いが、少し減った。(他1)
- ・学校行事に参加するようになった。(他1)
- ・野菜(花)の世話をするようになった(他3)
- ・手伝いをするようになった

4 立岩の印象や農業を教えてください先生についての感想

- ・分かりやすく教えてくれる。(他25)
- ・スタッフが優しい(他3)
- ・自然が沢山
- ・とても面白い
- ・楽しい。
- ・自然がきれい。(他9)
- ・山の緑がきれい

5 これから、立岩ダッシュ村でやってみたいことはありませんか。

- ・クリスマスにリース作り
- ・キャンプ(他7)
- ・木工細工
- ・バーベキュー(他1)
- ・料理(他8)
- ・秘密基地
- ・餅つき
- ・川遊び
- ・キノコ狩り

自由意見

- ・味噌が美味しかったので味噌づくりを教えてもらいたい。(他1)
- ・来年も是非参加したい。
- ・キャンプが中止になったからキャンプがしたい。(他1)
- ・公民館からダッシュ村まで行くのが山登りみたいで、大変だったけど、着いたときに、見下ろす景色が絶景だった。
- ・これからも販売体験など、楽しいことがあるので頑張りたいです。
- ・友だちと一緒に野菜を植え付け、収穫してとっても楽しいです。
- ・もっと色々な野菜を作りたい。

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、本年度実施の農業体験学習は、3月で終わりになります。そこで、参加された保護者様のご意見をいただき、今後の参考にさせていただきたく、下記の設問にお答えいただきますようお願い申し上げます。誠にお手数をおかけしますが、3月7日の活動時に回収させていただきますので、お子様に預けていただきますよう、併せてお願いいたします。

問 1 お子様の性別・学年は

- ア 男子 学年
イ 女子

問 2 体験活動に参加するようになったのは、お子さん自身の考えですか

- ア 子ども自身の考え
イ 保護者の考え
ウ 親子両方の考え
エ その他

問 3 体験活動に参加させようと思った理由はなんですか。

- ア 家庭でできない体験ができるから
イ 楽しそうだから
ウ 新しい友だちができるから
エ 地域の大人と交流できるから
オ 自然との触れ合いができそうだから
カ その他

問 4 子どもさんは体験活動をどのように感じていますか

- ア とても楽しいと感じている
イ 楽しいと感じている
ウ あまり楽しくなさそう
エ つまらなさそう
オ その他

問 5 体験活動を通して子どもさんの様子のどのような点が変わりましたか。
てください。

- ア 活動日を楽しみに待つようになった
イ その日の活動等よく話すようになった
ウ 家事の手伝いをするようになった
エ 野菜をよく食べるようになった
オ あいさつがよくできるようになった
カ 自分で野菜や花を育ててみようとするようになった
キ ルールや決まりをまもれるようになった
ク 我慢強くなった
ケ 大人の言うことをよく聞くようになった
コ 終わりまでやり遂げようとするようになった
サ その他

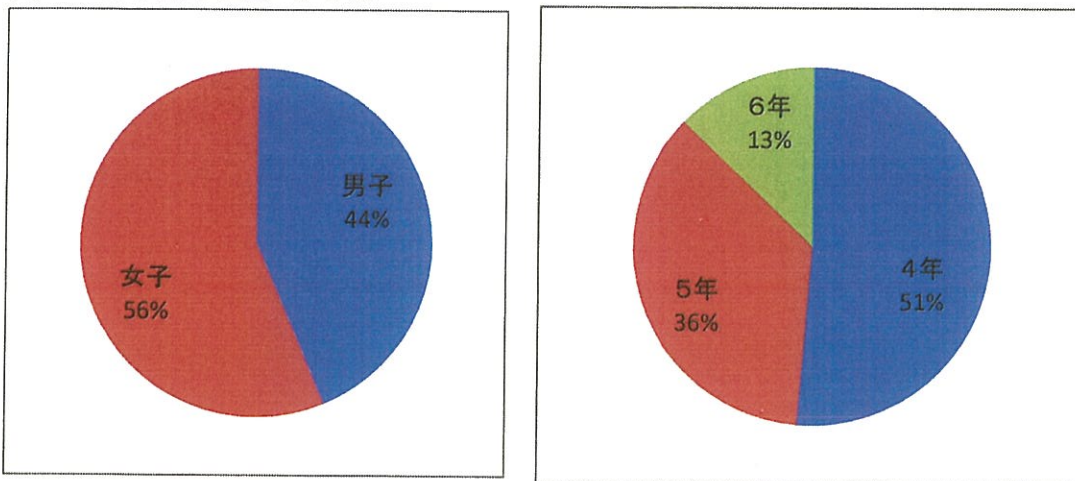
問 6 体験活動に参加させてよかったと思いますか。

- ア 期待以上だった
イ 期待どおりだった
ウ 期待はずれだった
エ その他

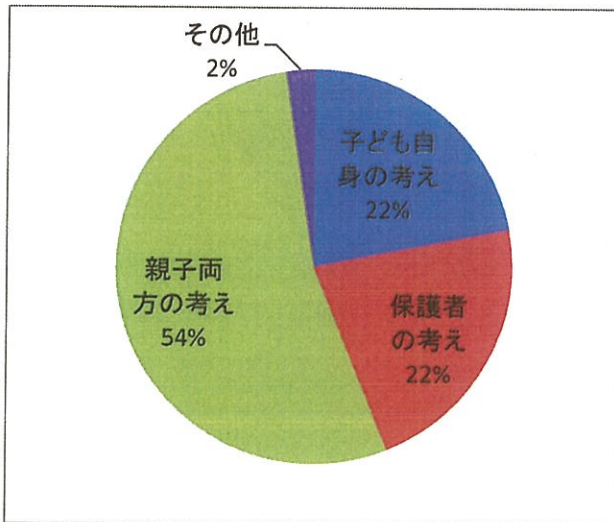
問 7 来年度も参加させようと思いますか

- ア 同じ場所で続けて参加させたい
イ 場所を変えて参加させたい(坂本、中島、興居島)
ウ 今年で参加をやめたい
エ その他

問 1 お子様の性別・学年は



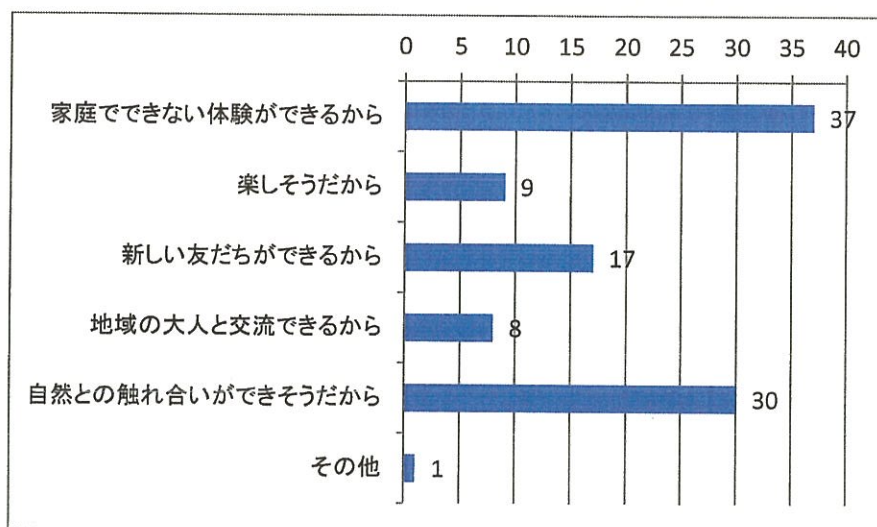
問 2 体験活動に参加するようになったのは、お子さん自身の考えですか



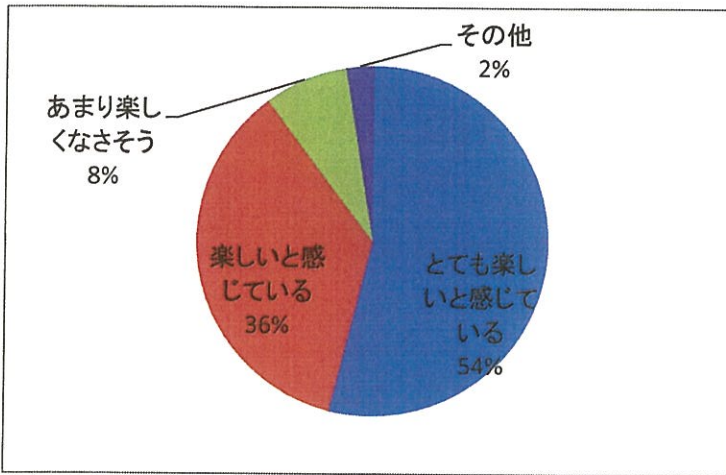
【その他】

- ・子どもの友だちが誘ってくれたため

問 3 体験活動に参加させようと思った理由はなんですか。



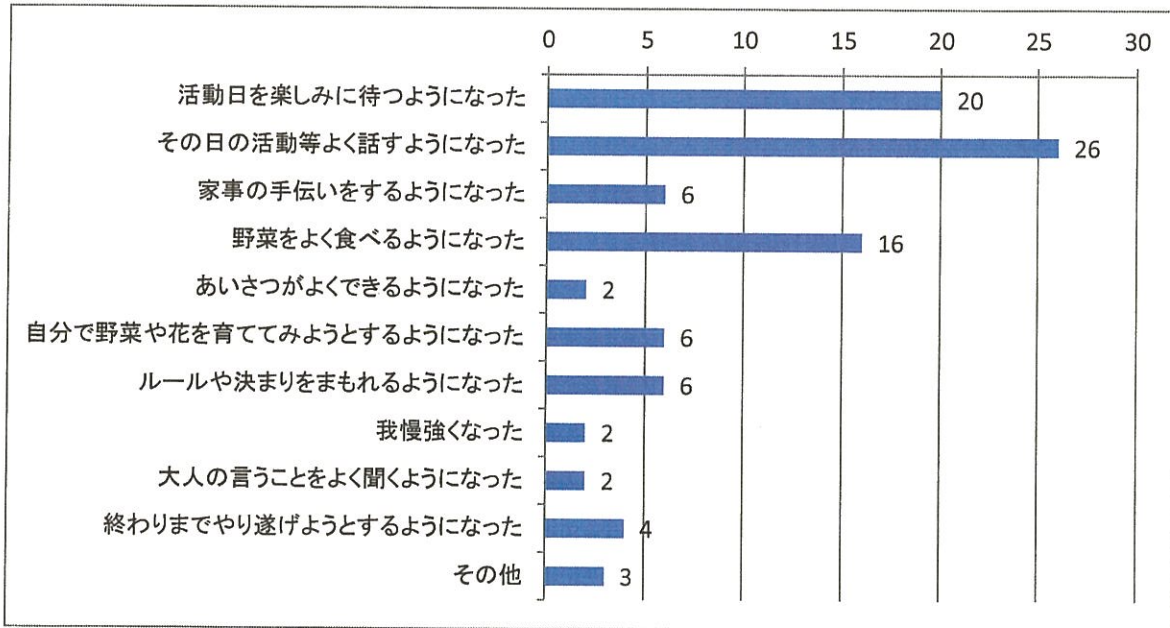
問 4 子どもさんは体験活動をどのように感じていますか



【その他】

- ・ 行くときは少し嫌そうにしているが、帰ってくると疲れたけど楽しかったと言っている。

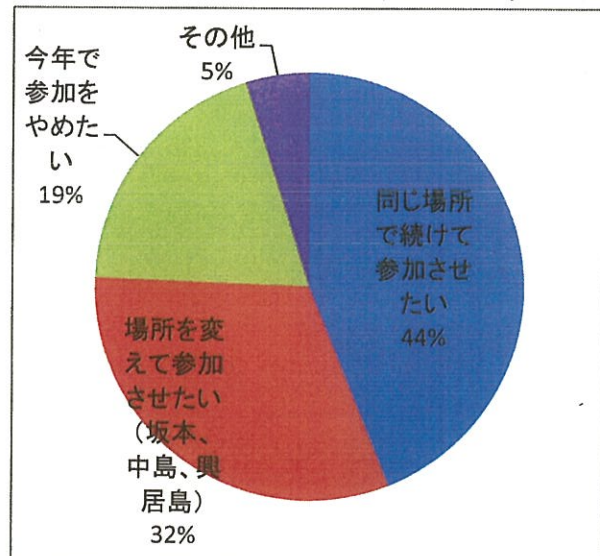
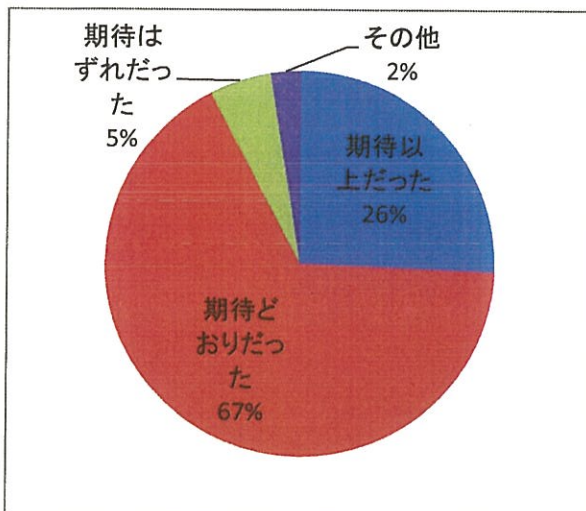
問 5 体験活動を通して子どもさんの様子のどのような点が変わりましたか。



【その他】

- ・ 今まで以上に食べる事の楽しさを感じるようになった。
- ・ 自分から進んでいろいろな事に挑戦するようになった。
- ・ 土に触ることが少なかったが、土に触れるようになった。

問 6 体験活動に参加させてよかったと思いますか。問 7 来年度も参加させようと思いますか



児童体験活動アンケート

H27.3.7

問 1 体験活動に参加するようになったのは、あなた自身の考えですか

- ア 自分自身の考え
- イ 保護者の考え
- ウ 親子両方の考え
- エ その他

問 2 体験活動に参加しようと思った理由はなんですか。

- ア 家でできない体験ができるから
- イ 楽しそうだから
- ウ 新しい友だちができるから
- エ 地域の大人と交流できるから
- オ 自然との触れ合いができそうだから
- カ その他

問 3 体験活動に参加して、どのように感じましたか

- ア とても楽しかった
- イ 楽しかった
- ウ あまり楽しくなかった
- エ つまらなかった
- オ その他

問 4 どのような活動が楽しかったですか。

- | | |
|---------------------------------------|----------------|
| ア 種まき | コ しめ縄作り |
| イ 草引き | 宿泊 |
| ウ 田植え | シ みそ作り |
| エ なえうえ | 流しそうめん |
| オ しゅうかく
(スイカ カボチャ ダイコン ハクサイ キャベツ等) | セ 炭焼き |
| カ お菓子作り(パンケーキ、野菜サラダ、ピザ) | ソ シイタケ菌うえ |
| キ カレー作り | タ オリジナルTシャツづくり |
| ク はんばい体験 (11月:合わせ味噌、豚汁、甘酒) | チ その他 |
| ケ もちつき | |

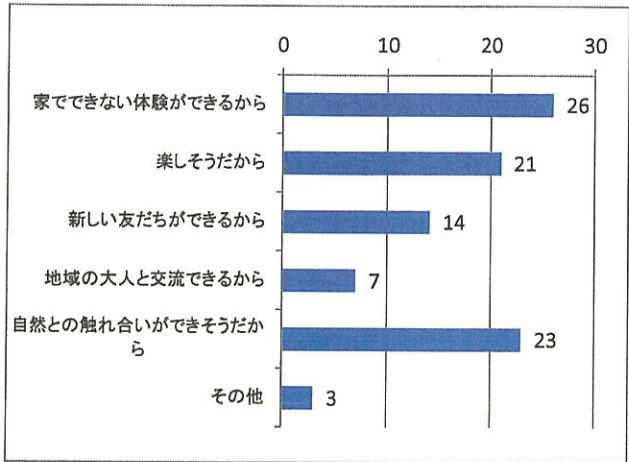
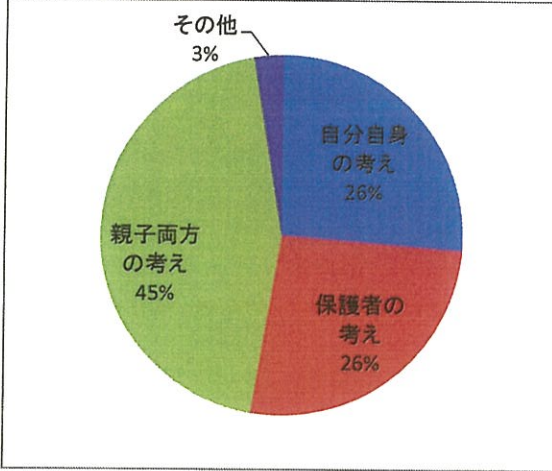
問 5 今まで体験活動に参加して変わったことがありますか

- ア ある
- イ ない

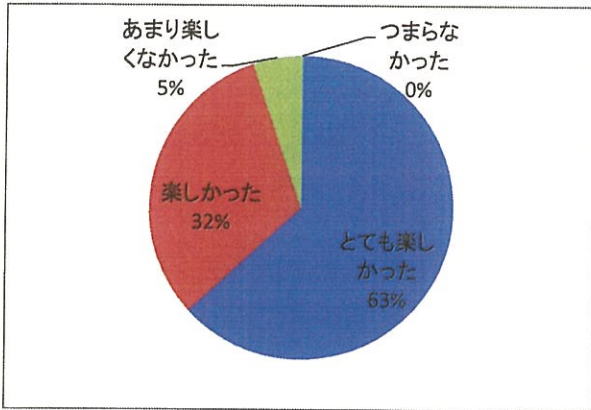
問 6 どのようなことが変わりましたか。

- ア 活動日を楽しみに待つようになった
- イ その日の活動等を家でよく話すようになった
- ウ 家事の手伝いを進んでするようになった
- エ 野菜を進んで食べるようになった
- オ きらいな野菜でも食べようと努力するようになった
- カ あいさつがよくできるようになった
- キ 自分で野菜や花を育ててみようとするようになった
- ク 友だちがたくさんできた
- ケ 他の友だちに話しかけるようになった
- コ ルールや決まりをまもれるようになった
- サ がまん強くなった
- シ どんなことにもやってみようとするようになった
- ス 大人の言うことをよく聞くようになった
- セ 終わりまでやり遂げようとするようになった
- ソ その他 ()

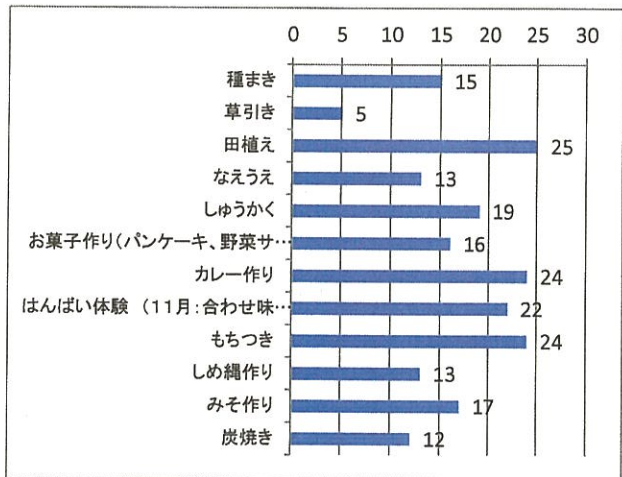
問 1 体験活動に参加するようになったのは、あなた自身の考えです問 2 体験活動に参加しようと思った理由はなんですか。



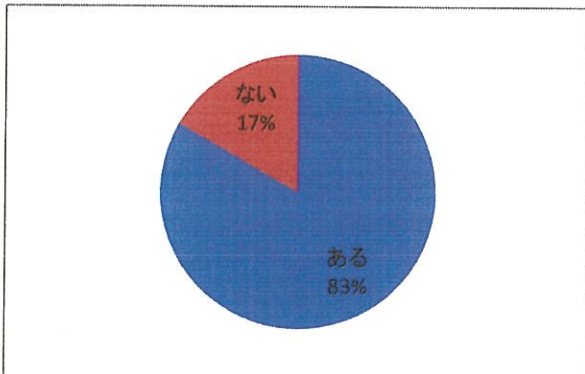
問 3 体験活動に参加して、どのように感じましたか



問 4 どのような活動が楽しかったですか。



問 5 今まで体験活動に参加して変わったことがありますか



問 6 どのようなことが変わりましたか。

